

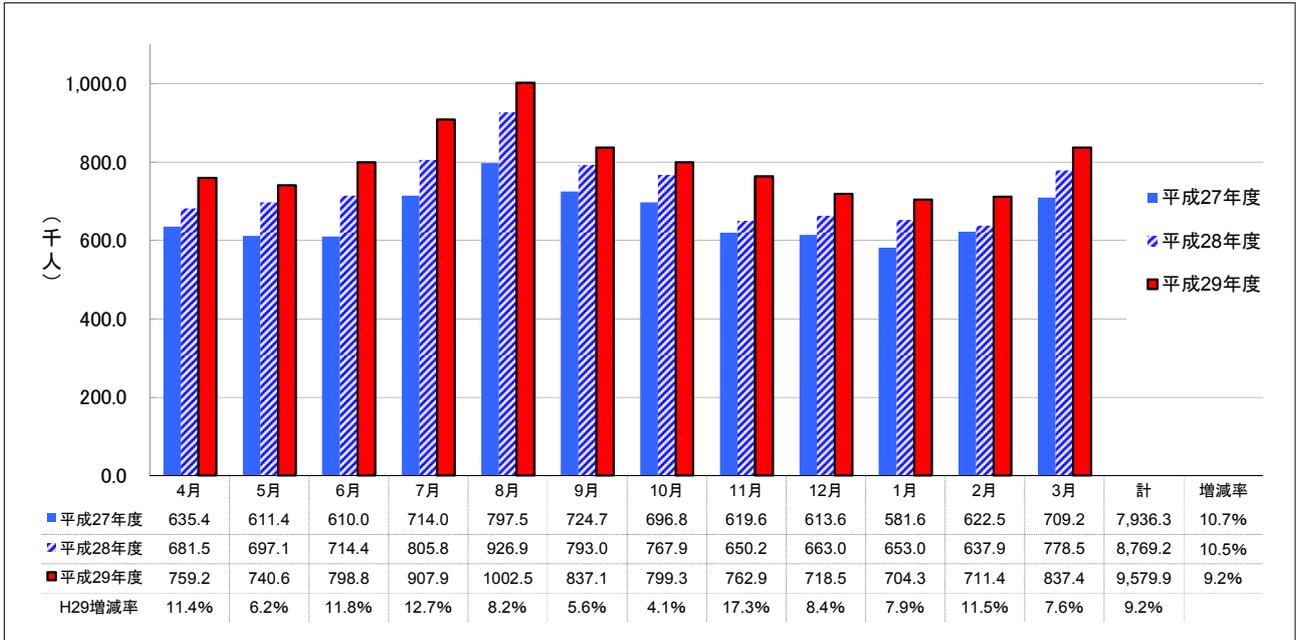
平成 29 年度 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
平成 30 年 4 月発表

平成 29 年度の観光客数は、957 万 9,900 人で過去最高

対前年度 (H28) 比 +81 万 700 人、+9.2%

■月別入域観光客数の推移 (平成 27 年度～平成 29 年度)



■平成 29 年度の概況 (総括)

平成 29 年度の入域観光客数は 957 万 9,900 人で、前年度比で 81 万 700 人、率にして 9.2%の増加となった。初の 900 万人台を記録し、5 年連続で過去最高を更新した。

平成 28 年度に続き、全ての月において前年同月を上回り、各月の過去最高記録を更新した。特に 8 月は初めて単月で 100 万人を突破したほか、70 万人台を下回る月が一度もないなど、着実にボトムアップしている。

前年度と比べて増加した要因は次の通りと考えられる。

- 行政や民間が一体となったプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったこと
- 離島直行便など国内航空路線の拡充による国内客の増加
- 東南アジア方面などの海外航空路線の拡充・クルーズ船寄港回数の増による外国客の増加

■平成 30 年度の見通し

景気が緩やかな回復基調にあることや、各航空会社による航空路線拡充の動きがあることなどから、国内観光地との競合が想定されるものの、国内旅行市場は堅調に推移すると見られる。

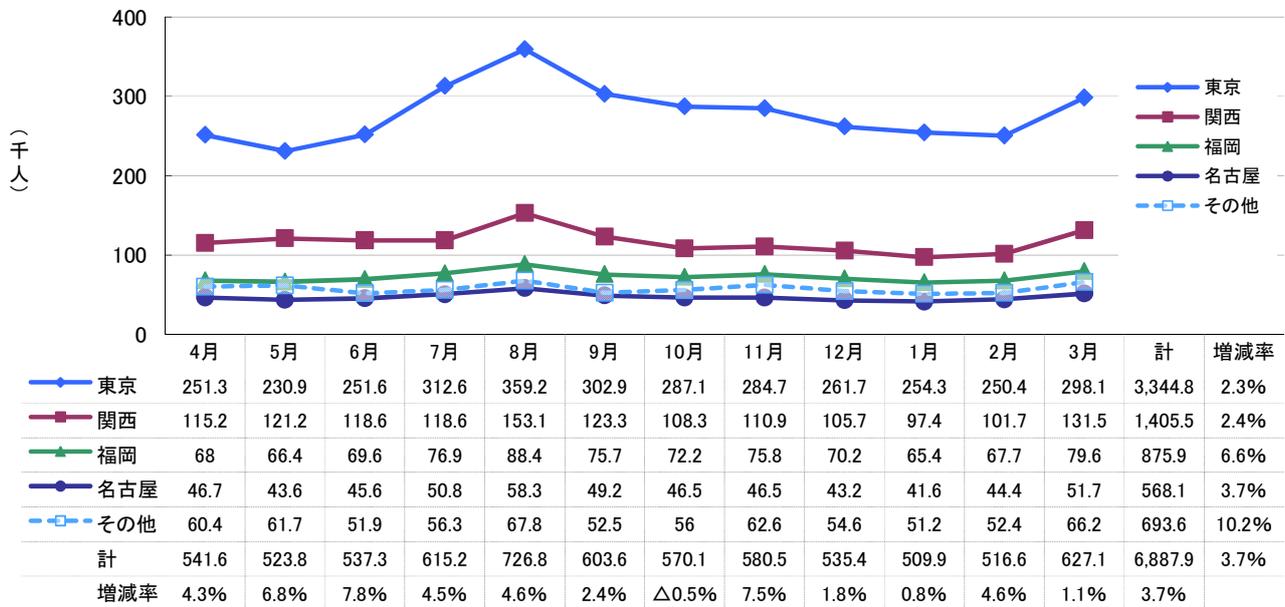
また、外国客については、台湾・高雄－那覇間において LCC による就航予定があり、空路客の入込増加が期待されることや、クルーズ船の寄港についても増加する予定となっていること等から、順調に推移するものと見込まれる。

国内観光客の動向

■入域観光客数（国内）

平成 29 年度の国内客は、5 年連続で過去最高となる 688 万 7,900 人で、対前年比で 24 万 7,800 人、率にして 3.7%の増加となった。これまでの年度における国内客の過去最高の入込は、平成 28 年度の 664 万 100 人。

■平成 29 年度国内観光客の状況（方面別の月別推移）



■国内観光客の概況

平成 29 年度は台風の影響があったものの、景気回復基調が継続したことで全体として国内旅行需要は好調に推移した。名古屋－宮古路線の新規就航等の航空路線の拡充に加えて、各離島への直行便も好調であったこと等から、前年度を上回った。

【方面別の動向】

東京方面 羽田－那覇路線の増便等航空路線の拡充に加えて、離島への直行便についても好調であったこと等から、前年度を上回った。

関西方面 神戸－那覇路線を中心とした航空路線の拡充や、関西から宮古・石垣への直行便がいずれも好調であったこと等から、前年度を上回った。

福岡方面 北九州－那覇路線の新規就航など航空路線が拡充したことにより前年を上回り、前年度の熊本地震の影響から増加率は主要方面で最も高かった。

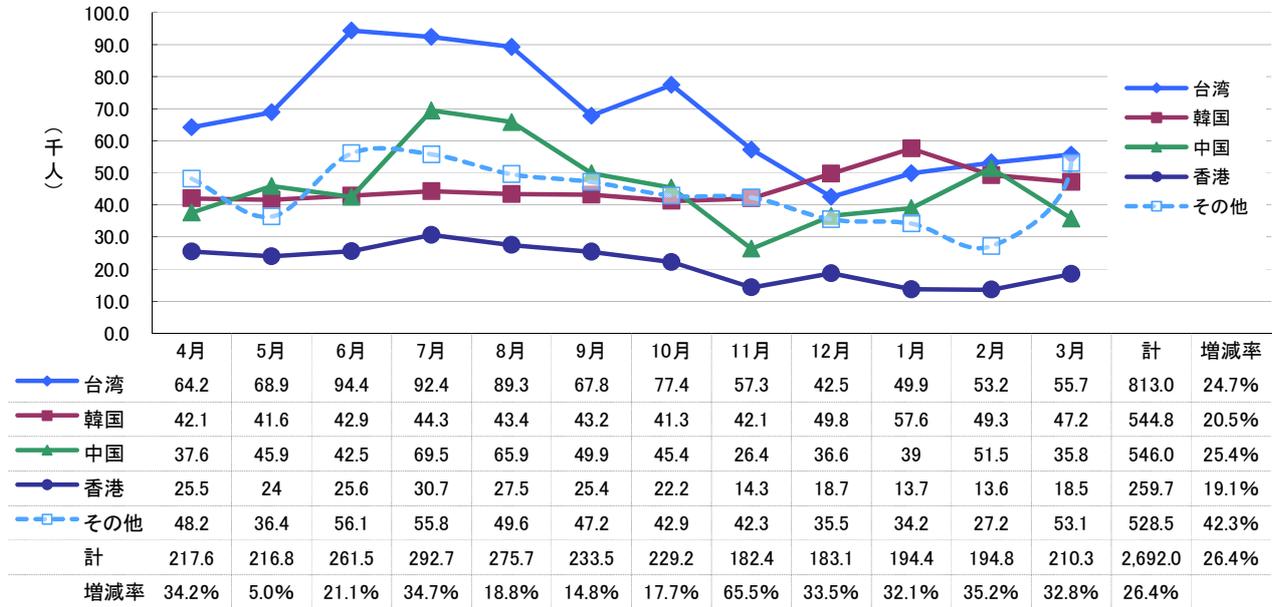
名古屋方面 名古屋－宮古路線の新規就航や、石垣への直行便についても好調であったこと等から、前年度を上回った。

外国人観光客の動向

■入域観光客数（外国）

平成 29 年度の外国客は、10 年連続で過去最高となる 269 万 2,000 人で、対前年比で 56 万 2,900 人、率にして 26.4%の増となった。これまでの年度における外国客の過去最高の入込は、平成 28 年度の 212 万 9,100 人。

■平成 29 年度外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



■外国人観光客の概況

平成 29 年度は、昨年度から引き続き訪日旅行人気が継続していることに加え、沖縄発着航空路線の新規就航および既存路線の増便があり、空路客が増加した。

また、クルーズ船寄港回数が夏場を中心に大きく増加したことにより、海路客が大幅に増加した。

【国籍別の動向】

台湾

タイガーエアー台湾による高雄－那覇路線の新規就航などの航空路線の拡充に加え、クルーズ船の寄港回数増により、空路・海路客ともに増加し初の 80 万人台となった。

韓国

ティーウェイ航空による大邱－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充により、空路客を中心に増加、過去最高を更新し、初の 50 万人台となった。

中国本土

中国東方航空による西安－那覇路線の新規就航等により空路は前年度並みとなったが、中国発クルーズ船の寄港回数増により、海路客が増加し、初の 50 万人台となった。

香港

香港エクスプレスによる香港－石垣路線の通年化や、香港発クルーズ船の寄港により、空路・海路客ともに増加、過去最高を更新した。

その他

ピーチアビエーションによるバンコク－那覇路線の通年運航や、ジェットスター・アジア航空によるシンガポール－那覇路線の新規就航など東南アジア方面での航空路線の拡充があった。

平成29年（2017）4月 入域観光客数概況

4月の観光客数は、75万9,200人
対前年（H28）同月比 +7万7,700人、+11.4%
～4月の過去最高更新、各月の過去最高を42ヶ月連続更新～

入域状況

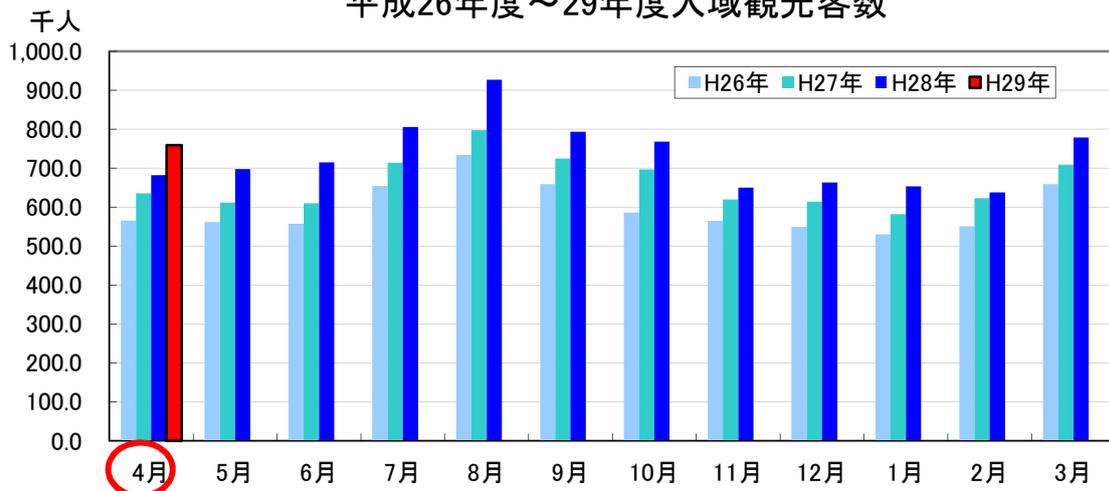
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	541,600 人	519,300 人	+ 22,300人	+ 4.3%	71.3%
外国客	217,600 人	162,200 人	+ 55,400人	+ 34.2%	28.7%
合計	759,200 人	681,500 人	+ 77,700人	+ 11.4%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	541,600 人	519,300 人	+ 22,300人	+ 4.3%	73.9%
外国客	190,800 人	140,400 人	+ 50,400人	+ 35.9%	26.1%
合計	732,400 人	659,700 人	+ 72,700人	+ 11.0%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

4月は、航空会社の増便等により輸送実績が増加したことや、県内での大型イベントの複数開催等により、主要方面で前年を上回った。

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良く、旅行会社や航空会社の予約状況が良好で臨時便が運航されたことや、夏期運航期間において路線の拡充による提供座席数の増加が見込まれることから、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

4月は、韓国・大邱及び中国・西安－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港増等から主要方面で前年を上回った。

5月以降は、台北－那覇路線の増便など航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	251,300 人	246,000 人	+ 5,300人	+ 2.2%	46.4%
関西方面	115,200 人	114,300 人	+ 900人	+ 0.8%	21.3%
福岡方面	68,000 人	61,100 人	+ 6,900人	+ 11.3%	12.6%
名古屋	46,700 人	41,800 人	+ 4,900人	+ 11.7%	8.6%
その他	60,400 人	56,100 人	+ 4,300人	+ 7.7%	11.2%
合計	541,600 人	519,300 人	+ 22,300人	+ 4.3%	100.0%

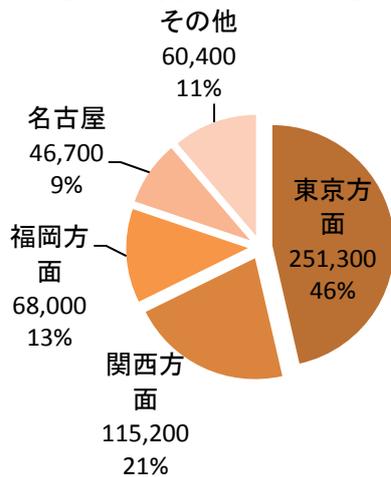
※国内海路客2,200人を含む(鹿児島1,800人、福岡300人、関西100人)

外国客 国籍別入域状況

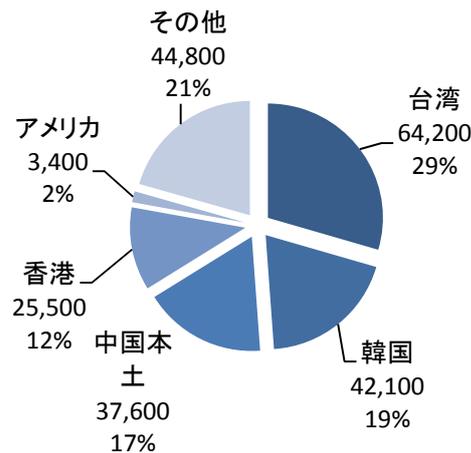
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	64,200 人	64,200 人	50,300 人	+ 13,900人	+27.6%	29.5%
韓国	42,100 人	42,100 人	27,900 人	+ 14,200人	+50.9%	19.3%
中国本土	37,600 人	37,600 人	36,600 人	+ 1,000人	+2.7%	17.3%
香港	25,500 人	25,500 人	15,300 人	+ 10,200人	+66.7%	11.7%
アメリカ	3,400 人	3,400 人	2,000 人	+ 1,400人	+70.0%	1.6%
その他	44,800 人	18,000 人	30,100 人	+ 14,700人	+48.8%	20.6%
合計	217,600 人	190,800 人	162,200 人	+ 55,400人	+34.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	47,600 人	47,600 人	+30.8%	33.4%	16,600 人	16,600 人	+19.4%	22.1%
韓国	42,100 人	42,100 人	+50.9%	29.5%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	19,800 人	19,800 人	△2.0%	13.9%	17,800 人	17,800 人	+8.5%	23.7%
香港	21,900 人	21,900 人	+52.1%	15.4%	3,600 人	3,600 人	+300.0%	4.8%
アメリカ	2,200 人	2,200 人	+37.5%	1.5%	1,200 人	1,200 人	+200.0%	1.6%
その他	8,900 人	8,900 人	+81.6%	6.2%	35,900 人	9,100 人	+42.5%	47.8%
合計	142,500 人	142,500 人	+35.2%	100.0%	75,100 人	48,300 人	+32.2%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

4月は、航空会社の搭乗率が増加したことや、県内での大型イベントの複数開催等により、前年を上回った。

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良いことで、旅行会社や航空会社の予約状況が良好で臨時便の運航もあること等から、好調に推移する見込み。

大阪

4月は、スカイマークの増便により輸送実績が倍増したことや、離島直行便の輸送実績についても増加したこと等から、前年を上回った。

5月は、ゴールデンウィークの予約状況が良好なことや、提供座席数の増加が見込まれること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

4月は、前年同月に比べて提供座席数が減となったものの、各航空会社の個人旅行商品の販売状況や、旅行会社の販売が増加したこと等から、前年を上回った。

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良いことで、旅行会社や航空会社の予約状況が良好なことから、好調に推移する見込み。

名古屋

4月は、スカイマークの増便により輸送実績が約2.8倍と大幅に増えたことや、旅行会社の販売も増加したこと等から、前年を上回った。

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良いことで、旅行会社や航空会社の予約状況が良好なことから、好調に推移する見込み。

台湾

4月は、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港が増加したこと等から、前年を上回った。

5月以降は、沖縄へのインセンティブツアーの取扱いが多く見られることや、台北－那覇路線の増便計画等により堅調に推移する見込み。

韓国

4月は、中国から日本や東南アジアへ旅行客がシフトしていく傾向があったことや、ティーウェイ航空の大邱－那覇路線が新規就航されたこともあり、前年を上回った。

5月は、韓国国内の大型連休が最大9日間になっていることや、同期間に各航空会社が那覇空港にチャーター便を投入すること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

4月は、中国東方航空の西安－那覇路線が新規就航されたことや、旅行会社が韓国市場から日本市場に振り替える傾向が見られたこと等から、前年を上回った。

5月以降は、航空会社の予約状況が良好なことや、端午節休暇(5/28～30)による旅行需要が見込めること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

4月は、前年同月と比べ航空路線数が拡充したことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

5月以降は、航空会社の予約状況が良好なことや、クルーズ船の寄港増が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

香港

4月は、香港－石垣路線の増便など航空路線が拡充したことや、大型クルーズ船の寄港が開始されたこと等から、前年を上回った。

5月以降は、航空路線の増便に加え、ゲンティンドリーム号による那覇と宮古島へ寄港があること等から堅調に推移する見込み。

平成29年（2017）5月 入域観光客数概況

5月の観光客数は、74万600人
対前年（H28）同月比 +4万3,500人、+6.2%
～5月の過去最高更新、各月の過去最高を43ヶ月連続更新～

入域状況

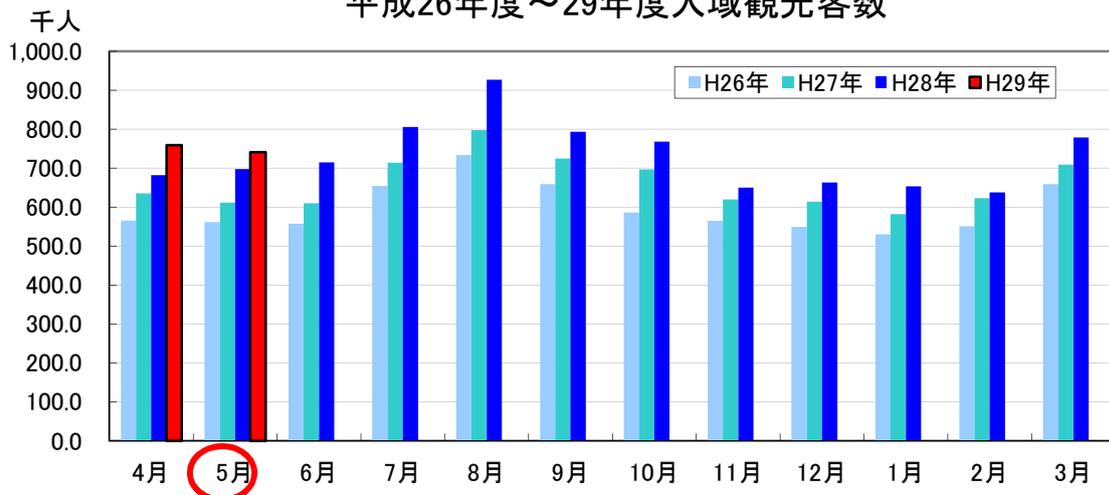
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	523,800 人	490,600 人	+ 33,200人	+ 6.8%	70.7%
外国客	216,800 人	206,500 人	+ 10,300人	+ 5.0%	29.3%
合計	740,600 人	697,100 人	+ 43,500人	+ 6.2%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	523,800 人	490,600 人	+ 33,200人	+ 6.8%	73.2%
外国客	192,000 人	170,400 人	+ 21,600人	+ 12.7%	26.8%
合計	715,800 人	661,000 人	+ 54,800人	+ 8.3%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良かったことで、旅行会社や航空会社の販売が良好で臨時便の運航もあったことや、前年の熊本地震で縮小した旅行需要が回復したこと等から、前年を上回った。

6月は、ANA名古屋－宮古直行便の新規就航による航空路線の拡充があることや、旅行会社や航空会社の予約状況が良好なこと等から好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

5月は、韓国の大型連休や中国の端午節休暇があったことや、前年同月と比べ航空路線数が拡充し、チャーター便の投入もあったこと等から、前年を上回った。

6月は、高雄－那覇路線の増便計画やクルーズ船の寄港回数の増加が見込まれること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	230,900 人	218,200 人	+ 12,700人	+ 5.8%	44.1%
関西方面	121,200 人	119,200 人	+ 2,000人	+ 1.7%	23.1%
福岡方面	66,400 人	58,200 人	+ 8,200人	+ 14.1%	12.7%
名古屋	43,600 人	40,600 人	+ 3,000人	+ 7.4%	8.3%
その他	61,700 人	54,400 人	+ 7,300人	+ 13.4%	11.8%
合計	523,800 人	490,600 人	+ 33,200人	+ 6.8%	100.0%

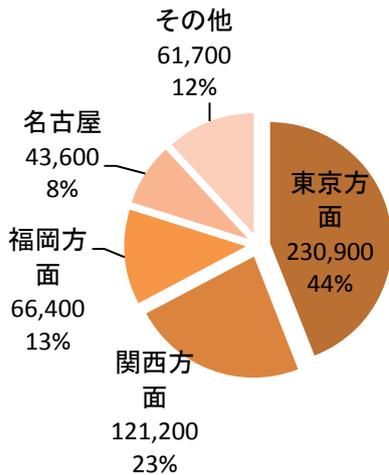
※国内海路客10,600人を含む(鹿児島3,200人、神戸2,800人、横浜2,300人、その他2,300人)

外国客 国籍別入域状況

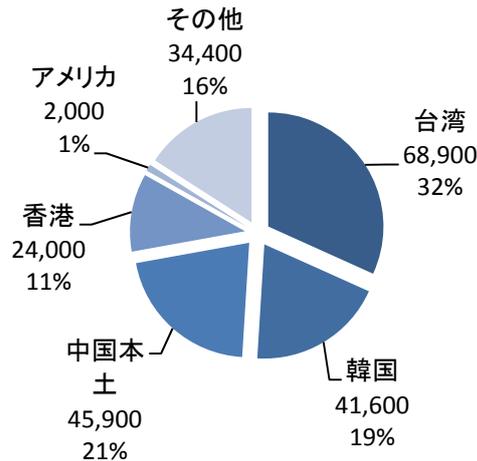
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	68,900 人	68,900 人	76,000 人	△ 7,100人	△9.3%	31.8%
韓国	41,600 人	41,600 人	27,700 人	+ 13,900人	+50.2%	19.2%
中国本土	45,900 人	45,900 人	37,900 人	+ 8,000人	+21.1%	21.2%
香港	24,000 人	24,000 人	19,500 人	+ 4,500人	+23.1%	11.1%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	1,800 人	+ 200人	+11.1%	0.9%
その他	34,400 人	9,600 人	43,600 人	△ 9,200人	△21.1%	15.9%
合計	216,800 人	192,000 人	206,500 人	+ 10,300人	+5.0%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	51,500 人	51,500 人	+31.0%	35.4%	17,400 人	17,400 人	△52.6%	24.3%
韓国	41,300 人	41,300 人	+49.6%	28.4%	300 人	300 人	+200.0%	0.4%
中国本土	22,300 人	22,300 人	+3.7%	15.3%	23,600 人	23,600 人	+43.9%	33.0%
香港	21,100 人	21,100 人	+22.0%	14.5%	2,900 人	2,900 人	+31.8%	4.1%
アメリカ	1,800 人	1,800 人	+38.5%	1.2%	200 人	200 人	△60.0%	0.3%
その他	7,300 人	7,200 人	+62.2%	5.0%	27,100 人	2,400 人	△30.7%	37.9%
合計	145,300 人	145,200 人	+30.3%	100.0%	71,500 人	46,800 人	△24.7%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良かったことで、旅行会社や航空会社の販売が良好で臨時便の運航もあったことや、ゴールデンウィーク以後の販売についても良好であったこと等から前年を上回った。

6月は、航空会社の先行割引航空券の販売や、旅行会社の予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

大阪

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良かったことで、旅行会社や航空会社の販売が良好で臨時便の運航もあったことや、スカイマークの増便により輸送実績が倍増したこと等から、前年を上回った。

6月は、旅行会社や航空会社の予約状況が概ね良好なことや、提供座席数の増加が見込まれること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良かったことで、旅行会社や航空会社の販売が良好であったことや、前年の熊本地震による旅行取消が多数発生した反動等から、前年を上回った。

6月は、航空会社の予約状況や、旅行会社の団体旅行の取扱いが良好なこと等から好調に推移する見込み。

名古屋

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良かったことで、旅行会社や航空会社の販売が良好であったことや、スカイマークの増便により輸送実績が増加したこと等から前年を上回った。

6月は、ANA名古屋－宮古直行便の新規就航があることや、旅行商品の予約状況も良好なこと等から好調に推移する見込み。

台湾

5月は、航空路線について対前年同月比で増便で空路観光客は増加したものの、クルーズの寄港回数が減少したことで海路観光客数が減少し、全体で前年を下回った。

6月は、高雄－那覇路線の増便計画や、クルーズ船の寄港回数の増加が見込まれること等により好調に推移する見込み。

韓国

5月は、韓国国内の大型連休があったことや、各航空会社が那覇空港にチャーター便を投入したこと等から、前年を上回った。

6月は、6/5(月)を休むと殉国兵の日(6/6)と絡めて4連休となり、海外旅行の需要増が期待されることや、近距離旅行の人気の高い傾向があること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

5月は、端午節休暇(5/28～30)があったことや、前年同月と比べ航空路線数が拡充したこと等から、前年を上回った。

6月は、航空会社の予約状況が良好なことや、卒業旅行シーズンがスタートし旅行需要が見込めること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

5月は、前年同月と比べ航空路線数が拡充したことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

6月は、航空会社の予約状況が良好なことや、卒業旅行シーズンがスタートし旅行需要が見込めること等から、堅調に推移する見込み。

香港

5月は、航空路線の増便に加え、ゲンティンドリーム号による那覇と宮古島への寄港等から、前年を上回った。

6月は、大型クルーズ船の寄港に加え、インセンティブツアーによるチャーター便の就航があること等から堅調に推移する見込み。

平成29年（2017）6月 入域観光客数概況

6月の観光客数は、79万8,800人
対前年（H28）同月比 +8万4,400人、+11.8%
～6月の過去最高更新、各月の過去最高を44ヶ月連続更新～

入域状況

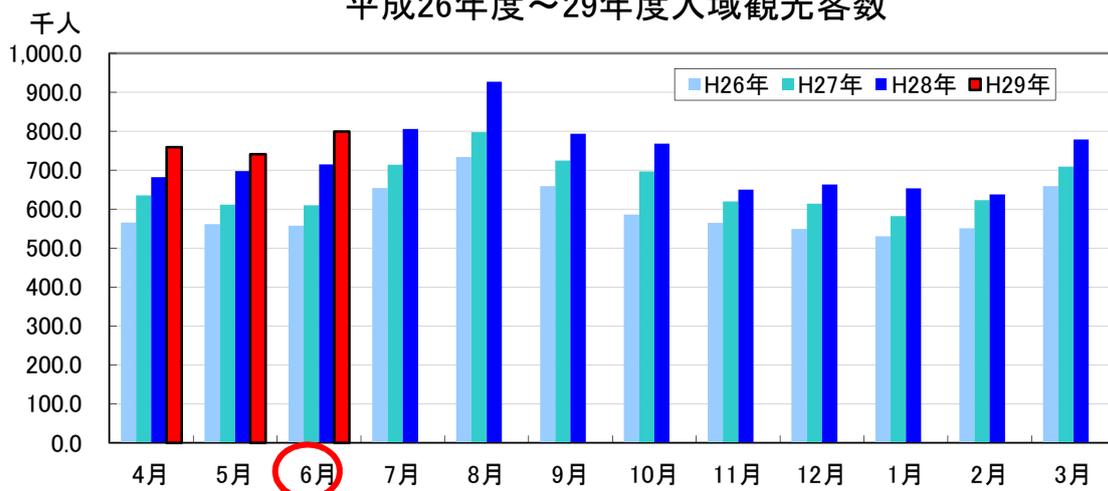
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	537,300 人	498,500 人	+ 38,800人	+ 7.8%	67.3%
外国客	261,500 人	215,900 人	+ 45,600人	+ 21.1%	32.7%
合計	798,800 人	714,400 人	+ 84,400人	+ 11.8%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	537,300 人	498,500 人	+ 38,800人	+ 7.8%	70.5%
外国客	225,200 人	185,600 人	+ 39,600人	+ 21.3%	29.5%
合計	762,500 人	684,100 人	+ 78,400人	+ 11.5%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

6月は、各旅行会社や航空会社による販売取組の強化により、各方面とも販売状況が良好であったことや、ANA名古屋－宮古直便の新規就航など航空路線の拡充があったこと等により、前年を上回った。

7月以降は、夏休み需要が高まる8月を中心に各旅行会社による商品の予約状況が良好なことや、引き続き前年同月と比べて航空路線の拡充があること等から好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

6月は、高雄－那覇路線の増便を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

7月は、台北・高雄－那覇路線の増便計画や、引き続きクルーズ船の寄港回数が増加予定であることに加え、本格的な夏休みシーズンによる旅行需要の増加が見込まれること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	251,600 人	238,600 人	+ 13,000人	+ 5.4%	46.8%
関西方面	118,600 人	111,300 人	+ 7,300人	+ 6.6%	22.1%
福岡方面	69,600 人	61,200 人	+ 8,400人	+ 13.7%	13.0%
名古屋	45,600 人	41,800 人	+ 3,800人	+ 9.1%	8.5%
その他	51,900 人	45,600 人	+ 6,300人	+ 13.8%	9.7%
合計	537,300 人	498,500 人	+ 38,800人	+ 7.8%	100.0%

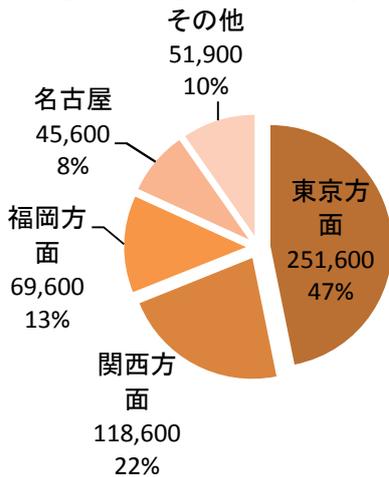
※国内海路客7,900人を含む(神戸4,300人、鹿児島2,400人、その他1,200人)

外国客 国籍別入域状況

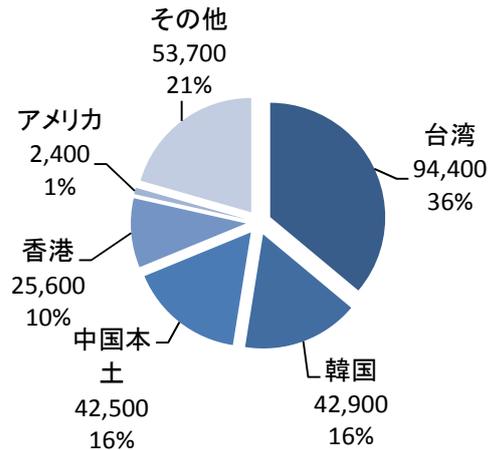
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	94,400 人	94,400 人	66,900 人	+ 27,500人	+41.1%	36.1%
韓国	42,900 人	42,900 人	33,800 人	+ 9,100人	+26.9%	16.4%
中国本土	42,500 人	42,500 人	49,500 人	△ 7,000人	△14.1%	16.3%
香港	25,600 人	25,600 人	24,400 人	+ 1,200人	+4.9%	9.8%
アメリカ	2,400 人	2,400 人	2,000 人	+ 400人	+20.0%	0.9%
その他	53,700 人	17,400 人	39,300 人	+ 14,400人	+36.6%	20.5%
合計	261,500 人	225,200 人	215,900 人	+ 45,600人	+21.1%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	55,900 人	55,900 人	+19.2%	36.3%	38,500 人	38,500 人	+92.5%	35.8%
韓国	42,700 人	42,700 人	+27.5%	27.7%	200 人	200 人	△33.3%	0.2%
中国本土	23,400 人	23,400 人	△8.2%	15.2%	19,100 人	19,100 人	△20.4%	17.8%
香港	22,000 人	22,000 人	+17.0%	14.3%	3,600 人	3,600 人	△35.7%	3.3%
アメリカ	2,200 人	2,200 人	+37.5%	1.4%	200 人	200 人	△50.0%	0.2%
その他	7,700 人	7,600 人	+26.2%	5.0%	46,000 人	9,800 人	+38.6%	42.8%
合計	153,900 人	153,800 人	+16.2%	100.0%	107,600 人	71,400 人	+28.9%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

6月は、航空会社の先行割引航空券などの販売が良好なことで輸送実績が増加したことに加え、旅行会社の販売実績が良好なこと等から、前年を上回った。

7月以降は、夏休みシーズンの8月を中心に、航空会社や旅行会社で前年を上回る予約状況があることや、航空会社の深夜便運航を含む航空路線の拡充等から、好調に推移する見込み。

大阪

6月は、スカイマークの増便により輸送実績が増加したことや、旅行会社や航空会社の販売状況が概ね良好であったこと等から、前年を上回った。

7月以降は、夏休みシーズンにおいて航空会社の予約状況が前年並みにあることや、週末を中心に一般団体からの予約が多く見られること等から、好調に推移する見込み。

福岡

6月は、JTAが提供座席数を増加させ、輸送実績も良好であったことや、旅行会社の団体旅行の取扱いが良好なこと等から、前年を上回った。

7月は、スターフライヤー北九州－那覇の新規就航があることや、航空会社や旅行会社の予約状況が良好なこと等から好調に推移する見込み。

名古屋

6月は、ANA名古屋－宮古直行便の新規就航があり、同便を取り扱う旅行商品の販売が良好であったことや、一般団体旅行の取扱が良好であったこと等から前年を上回った。

7月は、スカイマークで深夜フライトが就航することや、家族旅行商品の販売が良好なこと等から好調に推移する見込み。

台湾

6月は、航空路線の増便等により空路観光客が増加し、クルーズの寄港回数も増加したことで海路観光客数についても増加し、前年を上回った。

7月は、台北・高雄－那覇路線の増便計画や、クルーズ船の寄港回数の増加が見込まれること等により好調に推移する見込み。

韓国

6月は、中国から日本に旅行者がシフトしている傾向が見られることや、夏休み前の旅行商品の販売が良好なこと等から、前年を上回った。

7月は、夏休み前の旅行商品の取扱が増加していることに加え、本格的な夏休みシーズンによる旅行需要の増加が見込まれること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

6月は、韓国への旅行商品販売禁止による日本へのシフトがあったが、日本国内他地域との競合等により空路客が対前年で減少したこと等から、前年を下回った。

7月は、航空会社の予約状況が良好なことや、夏休みシーズンがスタートし旅行需要が見込めること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

6月は、韓国への旅行商品販売禁止による日本へのシフトがあったが、国内他地域との競合やクルーズ船の寄港回数が対前年で減少したこと等から、前年を下回った。

7月は、航空会社の予約状況が良好なことや、夏休みシーズンがスタートし旅行需要が見込めること等から、堅調に推移する見込み。

香港

6月は、航空路線の増便に加え、ゲンティンドリーム号による那覇と宮古島への寄港等から、前年を上回った。

7月は、クルーズ船の寄港回数の増加に加え、夏休みシーズンがスタートし旅行需要が見込めること等から堅調に推移する見込み。

平成29年（2017）7月 入域観光客数概況

7月の観光客数は、90万7,900人
対前年（H28）同月比 +10万2,100人、+12.7%
～7月の過去最高更新、各月の過去最高を45ヶ月連続更新～

入域状況

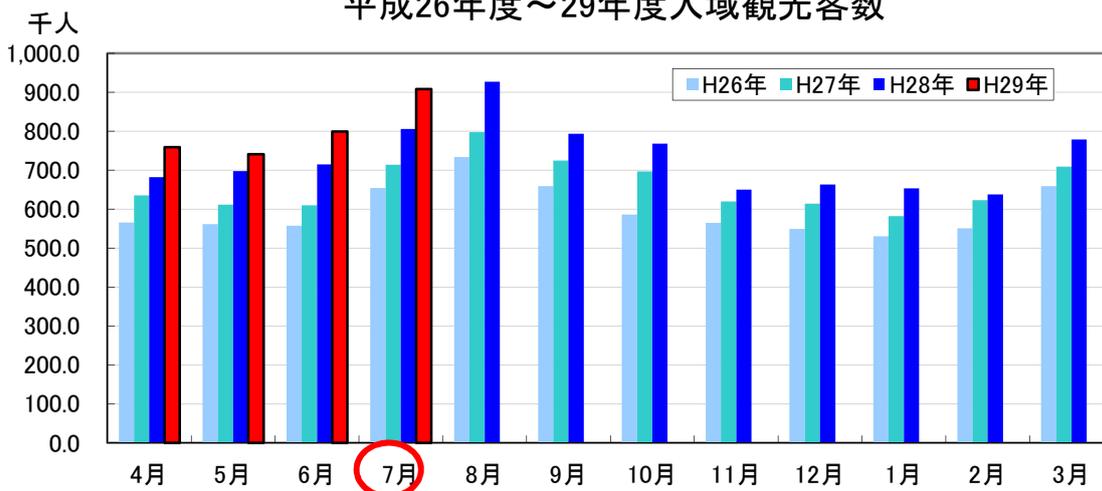
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	615,200 人	588,500 人	+ 26,700人	+ 4.5%	67.8%
外国客	292,700 人	217,300 人	+ 75,400人	+ 34.7%	32.2%
合計	907,900 人	805,800 人	+ 102,100人	+ 12.7%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	615,200 人	588,500 人	+ 26,700人	+ 4.5%	70.9%
外国客	252,600 人	191,100 人	+ 61,500人	+ 32.2%	29.1%
合計	867,800 人	779,600 人	+ 88,200人	+ 11.3%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

7月は、旅行会社や航空会社による販売取組の強化により、各方面とも販売状況が良好であったことや、深夜便など航空路線の拡充があったこと等により、前年を上回った。

8月は、本格的な夏休みシーズンに入り旅行会社による商品の予約状況が良好なことや、航空会社におけるお盆期間の予約状況が前年を上回っていること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

7月は、台北・高雄－那覇路線の増便を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年を上回り、単月として過去最高の入込数となった。

8月は、引き続きクルーズ船の寄港回数が増加予定であることに加え、本格的な夏休みシーズンによる旅行需要の増加が見込まれること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	312,600 人	303,900 人	+ 8,700人	+ 2.9%	50.8%
関西方面	118,600 人	117,500 人	+ 1,100人	+ 0.9%	19.3%
福岡方面	76,900 人	68,700 人	+ 8,200人	+ 11.9%	12.5%
名古屋	50,800 人	48,000 人	+ 2,800人	+ 5.8%	8.3%
その他	56,300 人	50,400 人	+ 5,900人	+ 11.7%	9.2%
合計	615,200 人	588,500 人	+ 26,700人	+ 4.5%	100.0%

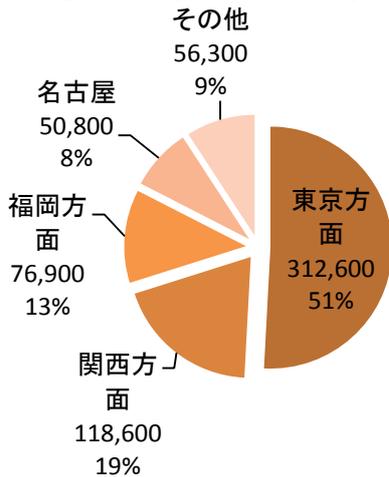
※国内海路客5,600人を含む(鹿児島2,500人、横浜2,300人、その他800人)

外国客 国籍別入域状況

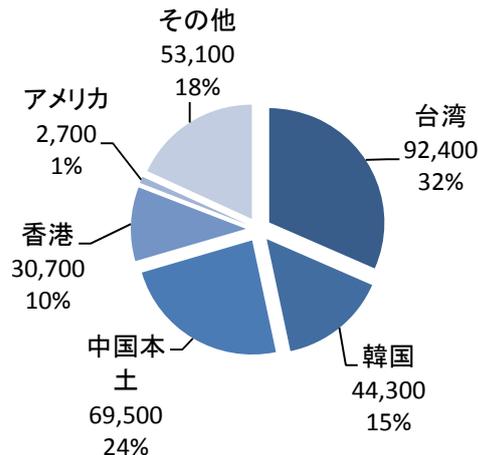
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	92,400 人	92,400 人	62,200 人	+ 30,200人	+48.6%	31.6%
韓国	44,300 人	44,300 人	37,800 人	+ 6,500人	+17.2%	15.1%
中国本土	69,500 人	69,500 人	55,300 人	+ 14,200人	+25.7%	23.7%
香港	30,700 人	30,700 人	25,700 人	+ 5,000人	+19.5%	10.5%
アメリカ	2,700 人	2,700 人	2,100 人	+ 600人	+28.6%	0.9%
その他	53,100 人	13,000 人	34,200 人	+ 18,900人	+55.3%	18.1%
合計	292,700 人	252,600 人	217,300 人	+ 75,400人	+34.7%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	56,300 人	56,300 人	+21.9%	34.9%	36,100 人	36,100 人	+125.6%	27.5%
韓国	44,200 人	44,200 人	+16.9%	27.4%	100 人	100 人	皆増	0.1%
中国本土	26,300 人	26,300 人	+0.0%	16.3%	43,200 人	43,200 人	+49.0%	32.9%
香港	24,200 人	24,200 人	+11.0%	15.0%	6,500 人	6,500 人	+66.7%	4.9%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	+11.1%	1.2%	700 人	700 人	+133.3%	0.5%
その他	8,300 人	8,300 人	+45.6%	5.1%	44,800 人	4,700 人	+57.2%	34.1%
合計	161,300 人	161,300 人	+15.5%	100.0%	131,400 人	91,300 人	+69.1%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

7月は、航空会社による深夜便の実績や、旅行会社における本島・離島方面の販売実績が良好であったこと等から、前年を上回った。

8月は、本格的な夏休みシーズンを迎え航空会社や旅行会社で前年を上回る予約状況があることや、お盆期間の臨時便を含めて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

大阪

7月は、スカイマークの増便により輸送実績が増加したことや、旅行会社や航空会社の販売状況が前年並みにあったこと等から、前年を上回った。

8月は、本格的な夏休みシーズンを迎え航空会社や旅行会社の予約状況が前年並みにあることや、お盆期間の予約も多く見られること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

7月は、スターフライヤー北九州－那覇関連の旅行商品が良好な出足となっていることや、ファミリー層を中心に旅行会社の取扱実績が高かったこと等から、前年を上回った。

8月は、航空会社の先行割引航空券などの予約状況や、引き続きファミリー層を中心とした旅行会社の予約状況が良好なこと等から好調に推移する見込み。

名古屋

7月は、スカイマークの深夜便等航空路線の拡充があったことや、離島を中心に航空会社や旅行会社の販売実績が高かったこと等から前年を上回った。

8月は、ANAの夏期増便を含む航空路線の拡充があることや、離島直行便を中心に航空会社の予約状況が良好なこと等から好調に推移する見込み。

台湾

7月は、台北・高雄－那覇路線の増便や、クルーズ船の寄港回数の増加したことで、空路客、海路客ともに前年を上回った。

8月は、引き続きクルーズ船の寄港回数が増加する予定で、予約状況も良好なこと等から堅調に推移する見込み。

韓国

7月は、旅行会社の販売取組の強化により、夏休み前のお手頃な旅行商品の販売実績が良好であったこと等から、前年を上回った。

8月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があることや、光復節(8/15)を絡めた連休で旅行需要の増加が見込まれること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土・北京

7月は、日本の他方面との競合はあるものの、家族旅行を中心に旅行商品の販売状況が良好なこと等から、前年を上回った。

8月は、航空会社の予約状況が良好なことや、本格的な夏休みシーズンで旅行需要の増加が見込まれること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

7月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があったことや、大型クルーズ船の寄港があったこと等から、前年を上回った。

8月は、航空会社の予約状況が良好なことや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

7月は、香港エクスプレスの香港－石垣路線の増便を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港の増加等から、前年を上回った。

8月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があることや、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から好調に推移する見込み。

平成29年（2017）8月 入域観光客数概況

8月の観光客数は、100万2,500人
対前年（H28）同月比 +7万5,600人、+8.2%
～初の100万人台を記録。単月の過去最高を更新～

入域状況

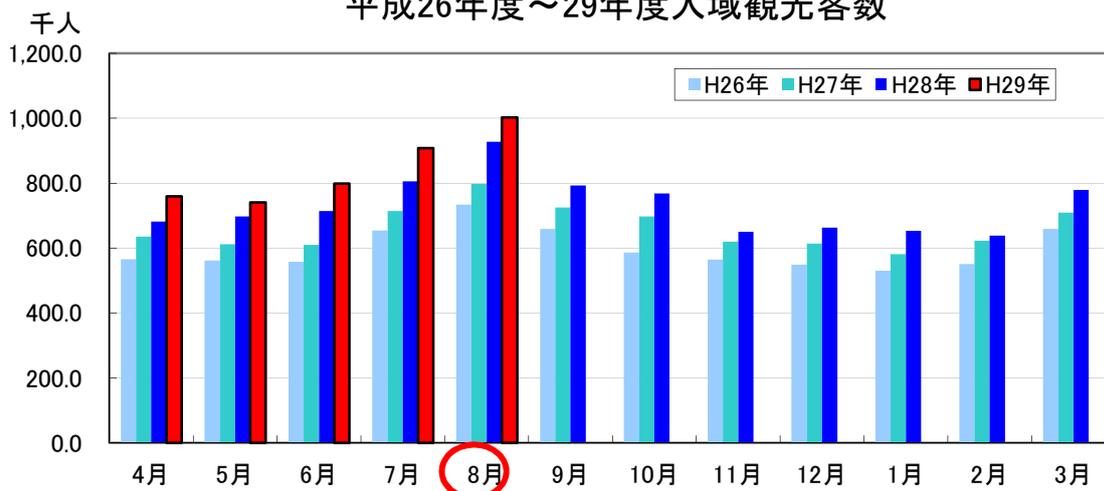
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	726,800 人	694,900 人	+ 31,900人	+ 4.6%	72.5%
外国客	275,700 人	232,000 人	+ 43,700人	+ 18.8%	27.5%
合計	1,002,500 人	926,900 人	+ 75,600人	+ 8.2%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	726,800 人	694,900 人	+ 31,900人	+ 4.6%	75.3%
外国客	238,700 人	197,300 人	+ 41,400人	+ 21.0%	24.7%
合計	965,500 人	892,200 人	+ 73,300人	+ 8.2%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

8月は、トップシーズンに入り旅行会社による販売状況が良好であったこと、航空路線の拡充やお盆期間の増便があったこと、台風の影響がほとんどなかったこと等により、前年を上回り、単月の過去最高を記録した。

9月は、深夜便等航空路線の拡充が継続し、各旅行会社の予約状況が前年同月並みにあること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

8月は、トップシーズンの旅行需要に加え航空路線の拡充があったことで空路客が増加したことや、クルーズ船の寄港回数が増加し海路客も増加したこと等から前年を上回った。

9月は、台風の影響が懸念されるものの、引き続き前年同月に比べて航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港回数についても前年同月並みにあること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	359,200 人	351,600 人	+ 7,600人	+ 2.2%	49.4%
関西方面	153,100 人	145,600 人	+ 7,500人	+ 5.2%	21.1%
福岡方面	88,400 人	80,200 人	+ 8,200人	+ 10.2%	12.2%
名古屋	58,300 人	54,800 人	+ 3,500人	+ 6.4%	8.0%
その他	67,800 人	62,700 人	+ 5,100人	+ 8.1%	9.3%
合計	726,800 人	694,900 人	+ 31,900人	+ 4.6%	100.0%

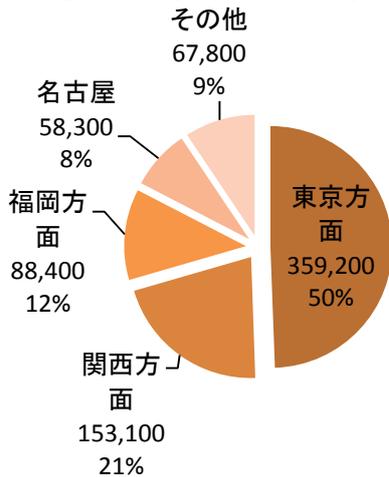
※国内海路客4,600人を含む(鹿児島4,300人、その他300人)

外国客 国籍別入域状況

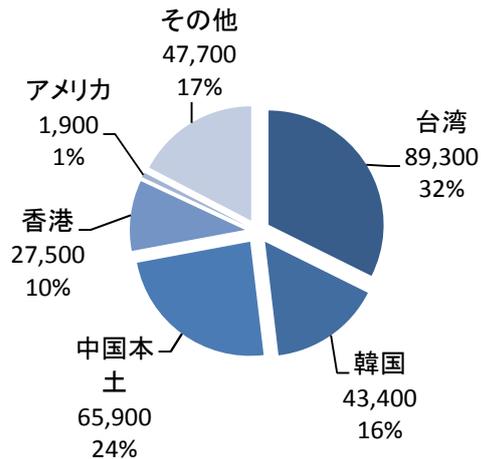
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	89,300 人	89,300 人	66,500 人	+ 22,800人	+34.3%	32.4%
韓国	43,400 人	43,400 人	40,100 人	+ 3,300人	+8.2%	15.7%
中国本土	65,900 人	65,900 人	57,000 人	+ 8,900人	+15.6%	23.9%
香港	27,500 人	27,500 人	23,000 人	+ 4,500人	+19.6%	10.0%
アメリカ	1,900 人	1,900 人	1,600 人	+ 300人	+18.8%	0.7%
その他	47,700 人	10,700 人	43,800 人	+ 3,900人	+8.9%	17.3%
合計	275,700 人	238,700 人	232,000 人	+ 43,700人	+18.8%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	54,900 人	54,900 人	+32.9%	35.0%	34,400 人	34,400 人	+36.5%	29.0%
韓国	43,300 人	43,300 人	+9.9%	27.6%	100 人	100 人	△85.7%	0.1%
中国本土	26,700 人	26,700 人	+6.0%	17.0%	39,200 人	39,200 人	+23.3%	33.0%
香港	21,800 人	21,800 人	+20.4%	13.9%	5,700 人	5,700 人	+16.3%	4.8%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	+14.3%	1.0%	300 人	300 人	+50.0%	0.3%
その他	8,600 人	8,600 人	+16.2%	5.5%	39,100 人	2,100 人	+7.4%	32.9%
合計	156,900 人	156,900 人	+18.1%	100.0%	118,800 人	81,800 人	+19.8%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

8月は、航空会社による深夜便の実績が良好なことや、お盆期間の増便等により入込が増加したこと等から、前年を上回った。

9月は、深夜便など提供座席数の増加があることや、旅行会社では間際での申込傾向が見られ、取扱増が期待できること等から好調に推移する見込み。

大阪

8月は、スカイマークの増便により輸送実績が増加したことや、お盆期間の増便等により入込が増加したこと等から、前年を上回った。

9月は、先行割引航空券などの予約状況が良好なことや、旅行会社では販売の追い込みを展開し、前年並みの販売が期待されること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

8月は、航空会社の先行割引航空券などの販売実績や、ファミリー層を中心とした旅行商品の販売が良好なこと等から、前年を上回った。

9月は、引き続き航空会社の先行割引航空券などの予約状況が前年同月を上回る見込みであるほか、旅行会社では販売の追い込みをかけ、取扱増が期待できること等から好調に推移する見込み。

名古屋

8月は、スカイマークの深夜便等航空路線の拡充があったことや、ANA宮古島直行便効果で離島を中心に販売実績が高かったこと等から、前年を上回った。

9月は、引き続き離島直行便を中心に航空会社の予約状況が良好なことや、旅行会社の予約状況も前年並みに見られること等から堅調に推移する見込み。

台湾

8月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

9月は、台風の影響が懸念されるものの、引き続き航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港予定があること等から堅調に推移する見込み。

韓国

8月は、光復節(8/15)を絡めた連休で近距離旅行が増加したことで、空路客を中心に前年を上回った。

9月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があることや、月末から旅行会社のチャーター便が予定されていること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土・北京

8月は、航空会社の予約状況が前年同月並みにあったことや、家族旅行を中心に旅行商品の販売状況が良好なこと等から、前年を上回った。

9月は、夏場のピークを避けた個人旅行客が増加している傾向が見られるほか、下旬から国慶節休暇の需要が多くなることが見込まれること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

8月は、前年同月と比べてクルーズ船の寄港回数が増加し、大型化で一度に数千人単位の入込が複数回あったこと等から、前年を上回った。

9月は、航空路線数が前年同月並みにあることや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

8月は、香港エクスプレスの香港－石垣路線の増便を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港等から、前年を上回った。

9月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があることや、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から好調に推移する見込み。

平成29年（2017）9月 入域観光客数概況

9月の観光客数は、83万7,100人
対前年（H28）同月比 +4万4,100人、+5.6%
～9月の過去最高更新、各月の過去最高を47ヶ月連続更新～

入域状況

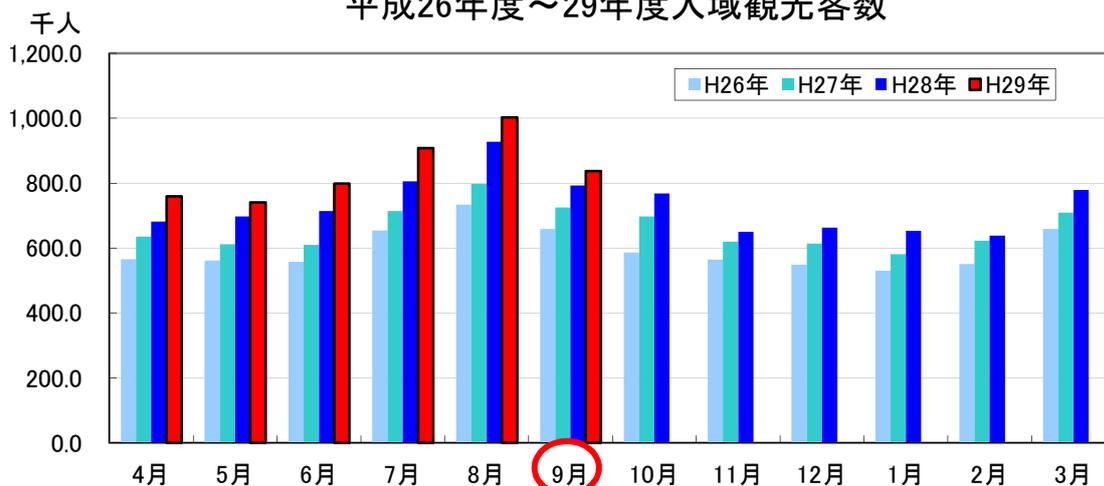
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	603,600 人	589,600 人	+ 14,000人	+ 2.4%	72.1%
外国客	233,500 人	203,400 人	+ 30,100人	+ 14.8%	27.9%
合計	837,100 人	793,000 人	+ 44,100人	+ 5.6%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	603,600 人	589,600 人	+ 14,000人	+ 2.4%	75.0%
外国客	201,300 人	175,900 人	+ 25,400人	+ 14.4%	25.0%
合計	804,900 人	765,500 人	+ 39,400人	+ 5.1%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

9月は、台風の影響で欠航便が出たものの、深夜便等航空路線の拡充があったことや、各旅行会社の取扱実績が比較的良好であったこと、大型コンサートイベントの開催等により、前年を上回った。

10月は、各旅行会社による旅行商品の予約状況が概ね良好なことや、修学旅行について昨年度実績が無かった地域から受注の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

9月は、台風の影響によるクルーズ船の欠航で、対前年同月と比べて寄港回数が減少したものの、航空路線の拡充があったことや大型連休絡みのチャーター便の就航等で空路客が増加したこと等から前年を上回った。

10月は、本格的な大型連休期間に入り航空会社の増便やチャーター便が予定されているほか、クルーズ船の寄港回数についても増加が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	302,900 人	298,000 人	+ 4,900人	+ 1.6%	50.2%
関西方面	123,300 人	122,000 人	+ 1,300人	+ 1.1%	20.4%
福岡方面	75,700 人	71,100 人	+ 4,600人	+ 6.5%	12.5%
名古屋	49,200 人	46,100 人	+ 3,100人	+ 6.7%	8.2%
その他	52,500 人	52,400 人	+ 100人	+ 0.2%	8.7%
合計	603,600 人	589,600 人	+ 14,000人	+ 2.4%	100.0%

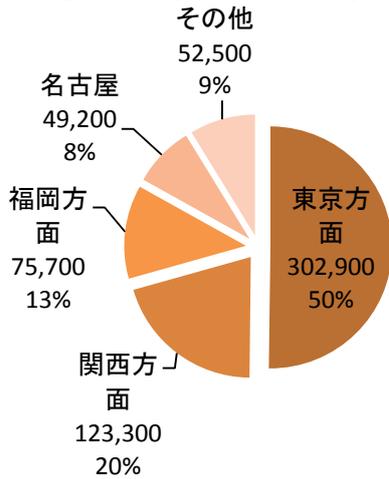
※国内海路客2,300人を含む(鹿児島2,200人、その他100人)

外国客 国籍別入域状況

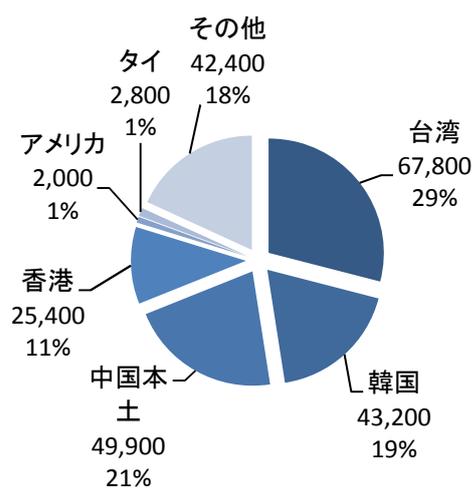
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	67,800 人	67,800 人	71,400 人	△ 3,600人	△5.0%	29.0%
韓国	43,200 人	43,200 人	38,200 人	+ 5,000人	+13.1%	18.5%
中国本土	49,900 人	49,900 人	35,500 人	+ 14,400人	+40.6%	21.4%
香港	25,400 人	25,400 人	21,200 人	+ 4,200人	+19.8%	10.9%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	1,600 人	+ 400人	+25.0%	0.9%
タイ	2,800 人	2,800 人	500 人	+ 2,300人	+460.0%	1.2%
その他	42,400 人	10,200 人	35,000 人	+ 7,400人	+21.1%	18.2%
合計	233,500 人	201,300 人	203,400 人	+ 30,100人	+14.8%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	53,400 人	53,400 人	+15.1%	36.5%	14,400 人	14,400 人	△42.4%	16.5%
韓国	43,100 人	43,100 人	+14.0%	29.5%	100 人	100 人	△75.0%	0.1%
中国本土	22,000 人	22,000 人	+4.3%	15.0%	27,900 人	27,900 人	+93.8%	32.0%
香港	19,000 人	19,000 人	+15.9%	13.0%	6,400 人	6,400 人	+33.3%	7.3%
アメリカ	1,500 人	1,500 人	+15.4%	1.0%	500 人	500 人	+66.7%	0.6%
タイ	2,600 人	2,600 人	+766.7%	1.8%	200 人	200 人	+0.0%	0.2%
その他	4,600 人	4,600 人	+12.2%	3.1%	37,800 人	5,600 人	+22.3%	43.3%
合計	146,200 人	146,200 人	+14.8%	100.0%	87,300 人	55,100 人	+14.9%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

9月は、深夜便など提供座席数の増加があったことや、旅行会社での取扱実績が比較的良好であったこと等から、前年を上回った。

10月以降は、航空会社の下期運航計画において路線数が前年並みにあることや、旅行会社の予約状況も良好であること等から好調に推移する見込み。

大阪

9月は、スカイマークの増便により輸送実績が増加したことや、旅行会社では前年並みの販売実績があったこと等から、前年を上回った。

10月は、航空会社の予約状況が良好なことや、修学旅行について他方面からの振替が見られること等から、好調に推移する見込み。

福岡

9月は、航空会社の先行割引航空券などの販売実績が良好なことや、旅行会社による旅行商品の販売がほぼ前年同月並みであったこと等から、前年を上回った。

10月は、引き続き航空会社の先行割引航空券などの予約状況が良好であるほか、前年にはなかった修学旅行や一般団体の先行受注が見られること等から好調に推移する見込み。

名古屋

9月は、旅行会社の販売実績は間際予約が伸びず前年割れの傾向が見られたものの、スカイマークの増便や、離島直行便の販売実績が高かったこと等から、前年を上回った。

10月は、引き続き離島直行便を中心に航空会社の予約状況が良好なことや、旅行会社の予約状況も前年並みに見られること等から好調に推移する見込み。

台湾

9月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があり空路客は増加したものの、台風の影響によりクルーズ船が欠航し、海路客が減少したこと等から、前年をやや下回った。

10月は、国慶節休暇絡みで臨時便が運航予定であることや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から好調に推移する見込み。

韓国

9月は、チェジュ航空の増便等航空路線の拡充があったことや、月末から旅行会社のチャーター便が運航されたこと等から、前年を上回った。

10月は、大型連休で旅行需要の増加が見込まれることや、引き続きチェジュ航空の増便等航空路線の拡充があること等から好調に推移する見込み。

中国本土・北京

9月は、夏場のピーク時を避けた旅行者が比較的多く見られたことや、航空会社の予約状況が前年同月並みにあったこと等から、前年を上回った。

10月は、他方面との競合が懸念されるものの、本格的な国慶節休暇で旅行需要の増加が見込まれること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

9月は、航空会社の予約状況が前年同月並みにあったことや、前年同月と比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

10月は、本格的な国慶節休暇で旅行需要の増加が見込まれることや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

9月は、香港エクスプレスの香港－石垣路線の増便を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港等から、前年を上回った。

10月は、本格的な国慶節休暇で旅行需要の増加が見込まれることや、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から好調に推移する見込み。

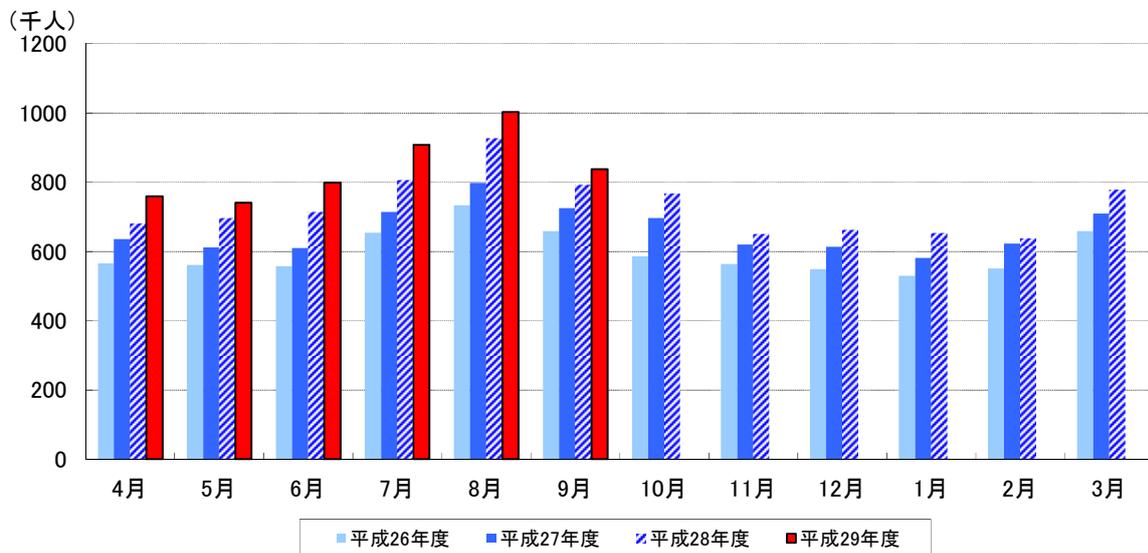
平成 29 年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
平成 29 年 10 月発表

**平成 29 年度上半期は、504 万 6,100 人で過去最高を更新
対前年度 (H28) 比 +42 万 7,400 人、+9.3%**

入域観光客数 (国内+外国)

■月別入域観光客数の推移 (平成 26 年度～平成 29 年度)



■平成 29 年度上半期入域観光客の状況 (平成 28 年度との比較)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
平成29年度	759,200	740,600	798,800	907,900	1,002,500	837,100	5,046,100
平成28年度	681,500	697,100	714,400	805,800	926,900	793,000	4,618,700
増減数	77,700	43,500	84,400	102,100	75,600	44,100	427,400
増減率	11.4%	6.2%	11.8%	12.7%	8.2%	5.6%	9.3%

■平成 29 年度上半期の概況 (総括)

平成 29 年度上半期の入域観光客数は、504 万 6,100 人となり、対前年同期比で 42 万 7,400 人増加、率にして 9.3%増となった。月別では 8 月に初の 100 万人台を記録し、単月の過去最高を更新するなど好調に推移した。9 月までに 60 か月連続で対前年同月を上回るとともに、47 か月連続で当該月の過去最高を上回る客数を記録した。

前年度上半期と比べて増加した主な要因は、次のとおりと考えられる。

- 官民一体となった誘客プロモーションの効果
- 国内航空路線の拡充
- 海外航空路線の拡充及びクルーズ船の寄港回数が増

国内観光客についての動向

■平成 29 年度上半期国内観光客の状況（平成 28 年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
平成29年度	541,600	523,800	537,300	615,200	726,800	603,600	3,548,300
平成28年度	519,300	490,600	498,500	588,500	694,900	589,600	3,381,400
増減数	22,300	33,200	38,800	26,700	31,900	14,000	166,900
増減率	4.3%	6.8%	7.8%	4.5%	4.6%	2.4%	4.9%

■国内観光客の概況

例年に比べると台風の影響が少なかったこと、北九州－那覇路線の新規就航等を含む航空路線の拡充（※）に加えて、羽田・伊丹－那覇路線や羽田、関西及び名古屋から離島への直行便も好調であったこと等から、各方面ともに好調に推移している。

下半期は、景気のゆるやかな回復基調が続いていることや、引き続き航空路線の拡充が予定されていること等から、今後も好調に推移することが期待できる。

※新規就航のあった路線：名古屋－宮古、北九州－那覇路線

主な増便のあった路線：羽田－那覇、羽田－宮古、伊丹－那覇、神戸－那覇路線

外国人観光客についての動向

■平成 29 年度上半期外国人観光客の状況（平成 28 年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
平成29年度	217,600	216,800	261,500	292,700	275,700	233,500	1,497,800
平成28年度	162,200	206,500	215,900	217,300	232,000	203,400	1,237,300
増減数	55,400	10,300	45,600	75,400	43,700	30,100	260,500
増減率	34.2%	5.0%	21.1%	34.7%	18.8%	14.8%	21.1%

■外国人観光客の概況

昨年から引き続き訪日旅行人気が続いていることに加え、沖縄発着航空路線が拡充（※）したことや、クルーズ船寄港回数が大幅に増加したこと等から、各方面ともに好調に推移している。国籍・地域別では、韓国や香港の伸びが顕著となっている。

下半期は、引き続きクルーズ船の寄港回数増が予定されていること等から、前年度以上の入込が期待できる。

※新規就航のあった路線：西安－那覇、大邱－那覇路線

主な増便のあった路線：台北－那覇、ソウル・釜山－那覇、香港－石垣路線

平成29年（2017）10月 入域観光客数概況

10月の観光客数は、79万9,300人
対前年（H28）同月比 +3万1,400人、+4.1%
～10月の過去最高更新、各月の過去最高を48ヶ月連続更新～

入域状況

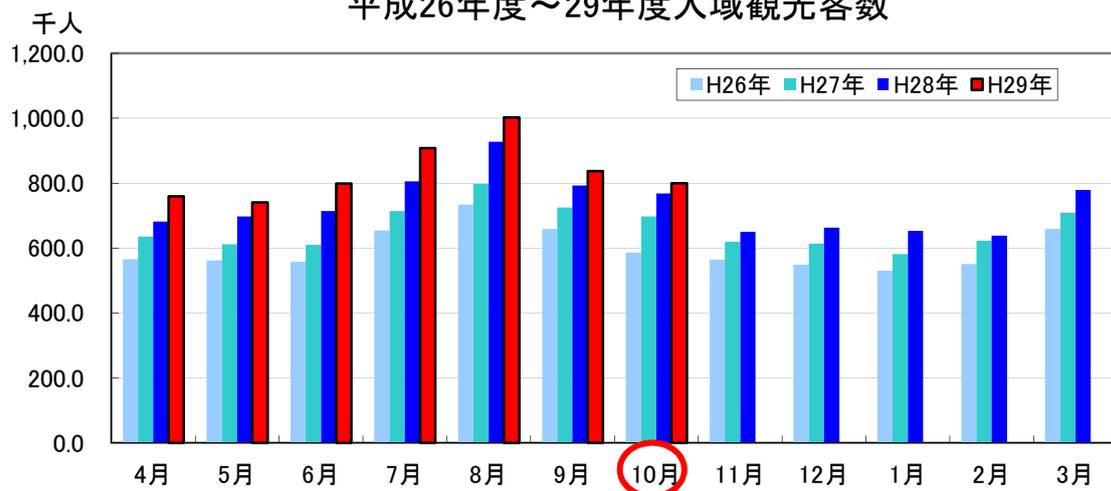
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	570,100 人	573,200 人	△ 3,100人	△ 0.5%	71.3%
外国客	229,200 人	194,700 人	+ 34,500人	+ 17.7%	28.7%
合計	799,300 人	767,900 人	+ 31,400人	+ 4.1%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	570,100 人	573,200 人	△ 3,100人	△ 0.5%	74.0%
外国客	200,500 人	171,100 人	+ 29,400人	+ 17.2%	26.0%
合計	770,600 人	744,300 人	+ 26,300人	+ 3.5%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

10月は、修学旅行の取扱いが増加したことや離島直行便の実績が良好であったものの、台風（第21号、第22号）の影響で欠航便や旅行のキャンセルが多数発生したことにより、前年をやや下回った。

11月は、連休の日並びが良いことで、航空会社では先行割引航空券を中心に予約状況が良好なことや、旅行会社では個人・団体共に予約状況が増加の傾向が見られること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

10月は、台風の影響でクルーズ船の欠航があったものの、大型連休絡みで航空会社によるチャーター便の就航があったことや、今年最大の大型クルーズ船（16万8千トン）が2度寄港したこと等から前年を上回った。

11月は、ジェットスター・アジア航空によるシンガポール直行便の就航など航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港回数について増加が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	287,100 人	292,000 人	△ 4,900人	△ 1.7%	50.4%
関西方面	108,300 人	110,500 人	△ 2,200人	△ 2.0%	19.0%
福岡方面	72,200 人	70,100 人	+ 2,100人	+ 3.0%	12.7%
名古屋	46,500 人	46,700 人	△ 200人	△ 0.4%	8.2%
その他	56,000 人	53,900 人	+ 2,100人	+ 3.9%	9.8%
合計	570,100 人	573,200 人	△ 3,100人	△ 0.5%	100.0%

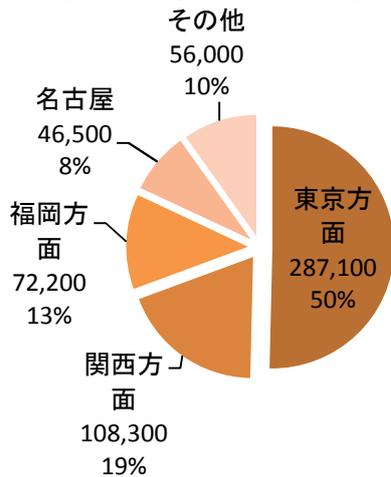
※国内海路客3,100人を含む(鹿児島2,500人、その他600人)

外国客 国籍別入域状況

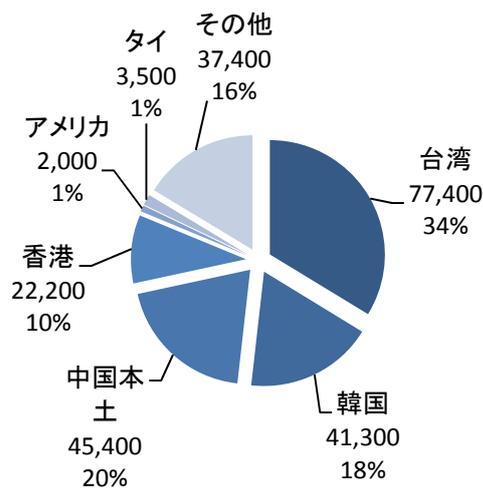
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	77,400 人	77,400 人	61,300 人	+ 16,100人	+26.3%	33.8%
韓国	41,300 人	41,300 人	37,400 人	+ 3,900人	+10.4%	18.0%
中国本土	45,400 人	45,400 人	38,000 人	+ 7,400人	+19.5%	19.8%
香港	22,200 人	22,200 人	17,000 人	+ 5,200人	+30.6%	9.7%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	3,500 人	△ 1,500人	△42.9%	0.9%
タイ	3,500 人	3,500 人	800 人	+ 2,700人	+337.5%	1.5%
その他	37,400 人	8,700 人	36,700 人	+ 700人	+1.9%	16.3%
合計	229,200 人	200,500 人	194,700 人	+ 34,500人	+17.7%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	53,200 人	53,200 人	+22.3%	37.7%	24,200 人	24,200 人	+36.0%	27.5%
韓国	41,200 人	41,200 人	+11.1%	29.2%	100 人	100 人	△66.7%	0.1%
中国本土	19,300 人	19,300 人	△3.0%	13.7%	26,100 人	26,100 人	+44.2%	29.6%
香港	16,900 人	16,900 人	+15.0%	12.0%	5,300 人	5,300 人	+130.4%	6.0%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	△33.3%	1.1%	400 人	400 人	△63.6%	0.5%
タイ	3,300 人	3,300 人	+725.0%	2.3%	200 人	200 人	△50.0%	0.2%
その他	5,600 人	5,600 人	+0.0%	4.0%	31,800 人	3,100 人	+2.3%	36.1%
合計	141,100 人	141,100 人	+14.2%	100.0%	88,100 人	59,400 人	+23.9%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

10月は、航空会社、旅行会社とも予約段階では前年を超える状況であったものの、台風の影響でキャンセルが多数発生し、前年を下回った。
11月は、航空会社による先行割引航空券の予約状況が良好なことや、連休の日並びが良いことで各旅行会社の予約状況も前年を超える勢いが見られること等から好調に推移する見込み。

大阪

10月は、修学旅行や一般団体について例年以上の取扱実績が見られたものの、台風の影響によりキャンセルが多数発生し、前年を下回った。
11月は、航空会社の予約状況が良好なことや、旅行会社の予約状況についても連休期間を中心に良好に推移していること等から、好調に推移する見込み。

福岡

10月は、修学旅行や先行割引航空券の取扱いが数多くあったことから、台風の影響でキャンセルが多数発生したものの、前年を上回った。
11月は、引き続き航空会社の先行割引航空券などの予約状況が良好であるほか、スポーツ大会や企業のインセンティブツアーの取扱いも数多く見られること等から好調に推移する見込み。

名古屋

10月は、離島直行便やソラシドエアの輸送実績が高かったものの、台風の影響でキャンセルが多数発生し、前年をやや下回った。
11月は、先行割引航空券を中心に航空会社の予約状況が良好なことや、旅行会社の予約状況についても個人・団体共に良好なこと等から好調に推移する見込み。

台湾

10月は、大型連休絡みで臨時便が運航されたことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。
11月は、中華航空の高雄－那覇路線で機材を大型化することや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から好調に推移する見込み。

韓国

10月は、大型連休に絡んだチェジュ航空の増便等航空路線の拡充があったことや、旅行会社のチャーター便が運航されたこと等から、前年を上回った。
11月は、紅葉の季節で他方面との競合が懸念されるものの、温暖な気候をテーマに自転車やゴルフ等で旅行需要の増加が見込まれること等から好調に推移する見込み。

中国本土・北京

10月は、国慶節絡みの大型連休で旅行需要が増加したことや、航空会社の予約状況が前年同月並みにあったこと等から、前年を上回った。
11月は、中国東方航空による西安－那覇路線の運航休止があるものの、料金が高いピーク時期を避けた個人旅行客(FIT)の需要が増加していること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

10月は、国慶節絡みの大型連休で旅行需要が増加したことや、前年同月と比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。
11月は、個人旅行客(FIT)の需要が一定程度見込めることや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

10月は、香港エクスプレスの香港－石垣路線の増便を含む航空路線の拡充や、大型クルーズ船の寄港等から、前年を上回った。
11月は、ピーチアビエーションによる香港－那覇路線の運航休止があるものの、他の航空会社は前年同月並の路線数が維持されていることに加え、引き続き香港発クルーズ船の寄港予定があること等から堅調に推移する見込み。

平成29年（2017）11月 入域観光客数概況

11月の観光客数は、76万2,900人
対前年（H28）同月比 +11万2,700人、+17.3%
～11月の過去最高更新、各月の過去最高を49ヶ月連続更新～

入域状況

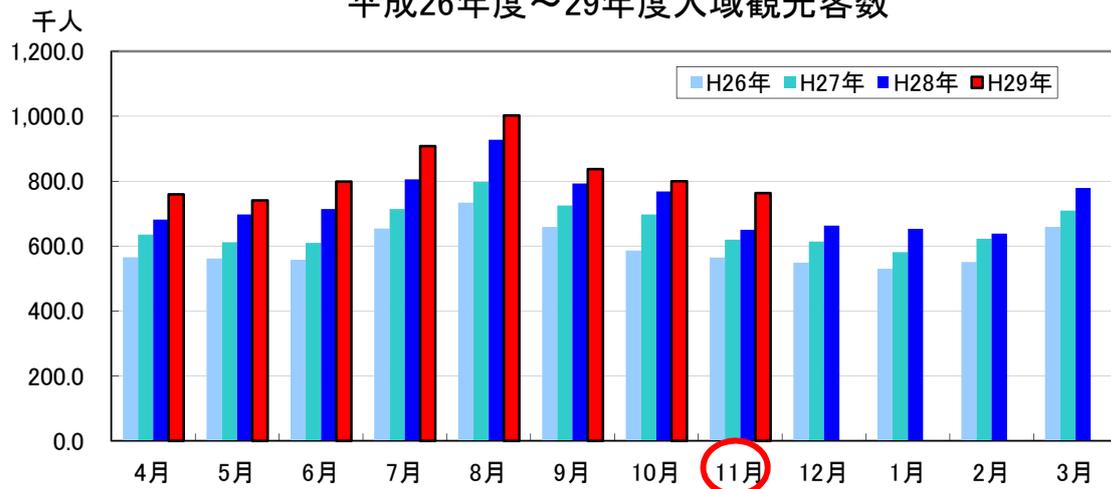
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	580,500 人	540,000 人	+ 40,500人	+ 7.5%	76.1%
外国客	182,400 人	110,200 人	+ 72,200人	+ 65.5%	23.9%
合計	762,900 人	650,200 人	+ 112,700人	+ 17.3%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	580,500 人	540,000 人	+ 40,500人	+ 7.5%	78.8%
外国客	156,600 人	103,100 人	+ 53,500人	+ 51.9%	21.2%
合計	737,100 人	643,100 人	+ 94,000人	+ 14.6%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

11月は、連休の日並びが良いことで航空会社や旅行会社の取扱実績が数多く見られたことや、修学旅行や離島直行便の実績が良好であったこと等により、前年を上回った。

12月は、国内最大規模の市民マラソン大会が開催され、県外から多数の参加者が見込まれることや、年末年始の旅行需要の高まりで、臨時便の就航など航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

11月は、ジェットスター・アジア航空によるシンガポール直行便の就航など航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が前年同月比で3倍以上（H28.11月7回からH29.11月23回）増加したこと等から前年を上回った。

12月は、マンダリン航空による台中－那覇路線の増便など航空路線の拡充があることや、年末年始の旅行需要の高まりが期待できること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	284,700 人	267,100 人	+ 17,600人	+ 6.6%	49.0%
関西方面	110,900 人	104,000 人	+ 6,900人	+ 6.6%	19.1%
福岡方面	75,800 人	71,100 人	+ 4,700人	+ 6.6%	13.1%
名古屋	46,500 人	46,100 人	+ 400人	+ 0.9%	8.0%
その他	62,600 人	51,700 人	+ 10,900人	+ 21.1%	10.8%
合計	580,500 人	540,000 人	+ 40,500人	+ 7.5%	100.0%

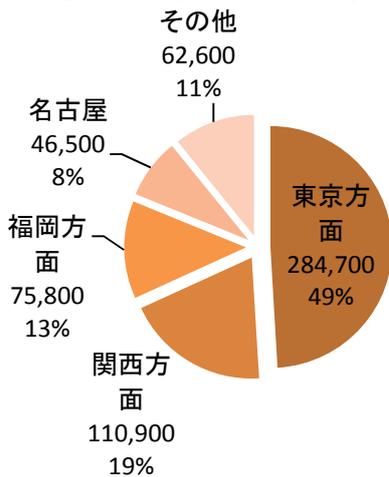
※国内海路客6,800人を含む(横浜3,700人、鹿児島2,200人、その他900人)

外国客 国籍別入域状況

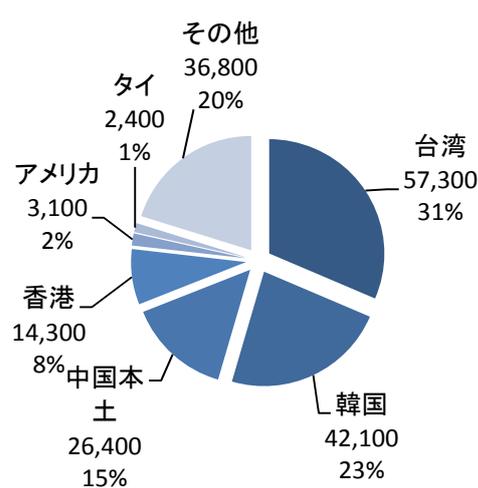
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	57,300 人	57,300 人	32,600 人	+ 24,700人	+75.8%	31.4%
韓国	42,100 人	42,100 人	32,900 人	+ 9,200人	+28.0%	23.1%
中国本土	26,400 人	26,400 人	16,400 人	+ 10,000人	+61.0%	14.5%
香港	14,300 人	14,300 人	14,200 人	+ 100人	+0.7%	7.8%
アメリカ	3,100 人	3,100 人	1,700 人	+ 1,400人	+82.4%	1.7%
タイ	2,400 人	2,400 人	500 人	+ 1,900人	+380.0%	1.3%
その他	36,800 人	11,000 人	11,900 人	+ 24,900人	+209.2%	20.2%
合計	182,400 人	156,600 人	110,200 人	+ 72,200人	+65.5%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	39,100 人	39,100 人	+58.9%	33.5%	18,200 人	18,200 人	+127.5%	27.7%
韓国	41,800 人	41,800 人	+27.1%	35.8%	300 人	300 人	皆増	0.5%
中国本土	13,500 人	13,500 人	+7.1%	11.6%	12,900 人	12,900 人	+239.5%	19.6%
香港	12,300 人	12,300 人	△5.4%	10.5%	2,000 人	2,000 人	+66.7%	3.0%
アメリカ	1,800 人	1,800 人	+5.9%	1.5%	1,300 人	1,300 人	皆増	2.0%
タイ	2,200 人	2,200 人	+340.0%	1.9%	200 人	200 人	皆増	0.3%
その他	6,000 人	6,000 人	+36.4%	5.1%	30,800 人	5,000 人	+310.7%	46.9%
合計	116,700 人	116,700 人	+30.1%	100.0%	65,700 人	39,900 人	+220.5%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

11月は、連休の日並びが良いことで航空会社や旅行会社の取扱実績が数多く見られたこと等から、前年を上回った。

12月は、スポーツイベントでの送客が見られることや、年末年始の旅行需要の高まりで各航空会社による予約状況についても良好なこと等から、好調に推移する見込み。

大阪

11月は、航空会社の先行割引航空券の販売状況が良好なことに加え、修学旅行や一般団体で多くの受注が見られたこと等から、前年を上回った。

12月は、年末年始の旅行需要の高まりに加えて、臨時便の就航や先行割引航空券の予約状況が引き続き良好なこと等から、好調に推移する見込み。

福岡

11月は、航空会社の先行割引航空券などの実績が良好であったほか、スポーツ関連団体や一般団体の取扱いも数多く見られたこと等から、前年を上回った。

12月は、年末年始の旅行需要の高まりから臨時便の就航があることや、修学旅行を中心に団体旅行の取扱いが数多く見られること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

11月は、離島直行便やソラシドエアの輸送実績が高かったことや、旅行会社による個人・団体旅行の取扱いが良好であったこと等から、前年を上回った。

12月は、年末年始の旅行需要の高まりから臨時便の就航があることや、旅行会社の予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

台湾

11月は、中華航空による高雄－那覇路線の機材大型化や、遠東航空による花蓮－石垣のチャーター便が就航したほか、クルーズ船の寄港回数が大幅に増加したこと等から、前年を上回った。

12月は、マンダリン航空の台中－那覇路線で増便が予定されていることや、引き続きクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

韓国

11月は、前年同月に比べて航空路線の拡充があったことや、温暖な気候をテーマとしたゴルフや自転車などアウトドア商品の販売が多かったこと等から、前年を上回った。

12月は、引き続き航空路線の拡充があることや、冬休みの旅行需要の高まりが期待できること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

11月は、例年閑散期にあたるものの、航空各社のセールで個人旅行者(FIT)の取り込みが見られたこと等から、前年を上回った。

12月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があることや、元旦休暇など年末にかけて旅行需要が高まることが期待できること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

11月は、閑散期における航空各社のセールで個人旅行者(FIT)の取り込みが見られたことや、前年同月と比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

12月は、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であることや、元旦休暇など年末にかけて旅行需要が高まることが期待できること等から、好調に推移する見込み。

香港

11月は、ピーチアビエーションによる香港－那覇路線の運航休止があり空路客は減少したものの、クルーズ船の寄港があったこと等から、前年を上回った。

12月は、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であることや、クリスマス・正月の旅行需要の高まりが期待できること等から、堅調に推移する見込み。

平成29年（2017）12月 入域観光客数概況

12月の観光客数は、71万8,500人
対前年（H28）同月比 +5万5,500人、+8.4%
～12月の過去最高更新、各月の過去最高を50ヶ月連続更新～

入域状況

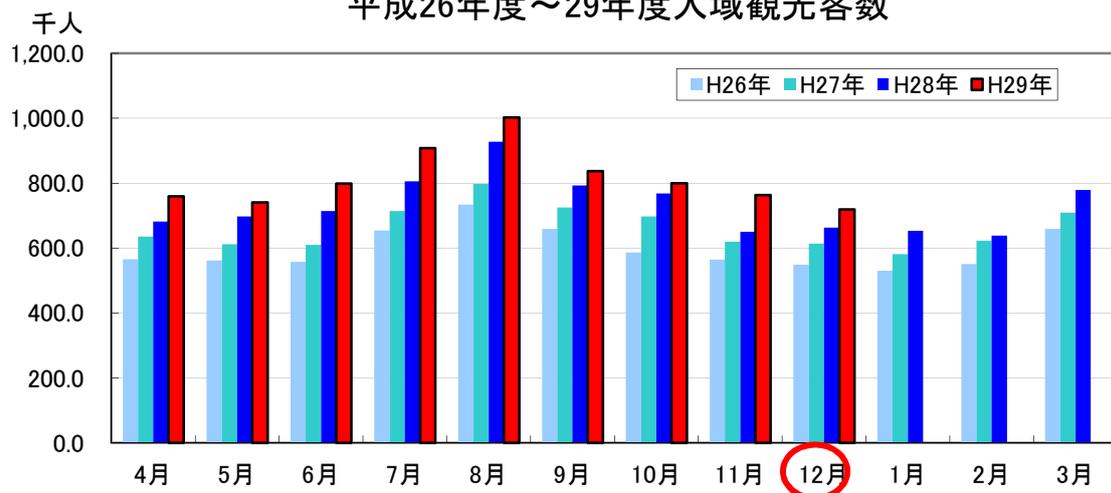
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	535,400 人	525,800 人	+ 9,600人	+ 1.8%	74.5%
外国客	183,100 人	137,200 人	+ 45,900人	+ 33.5%	25.5%
合計	718,500 人	663,000 人	+ 55,500人	+ 8.4%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	535,400 人	525,800 人	+ 9,600人	+ 1.8%	76.7%
外国客	162,700 人	125,800 人	+ 36,900人	+ 29.3%	23.3%
合計	698,100 人	651,600 人	+ 46,500人	+ 7.1%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

12月は、航空会社の先行割引航空券などの実績が良好であったほか、年末年始の旅行需要の高まりで、臨時便の就航など航空路線の拡充があったこと等により、前年を上回った。

1月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による旅行商品販売の取組を強化する動きがあること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

12月は、年末年始の旅行需要の高まりや、マンダリン航空による台中－那覇路線の増便など航空路線の拡充、クルーズ船の寄港回数が前年同月比で増加（H28.12月14回からH29.12月24回）したこと等から前年を上回った。

1月は、離島へのチャーター便の就航等航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港回数も増加する予定（H29.1月9回からH30.1月25回）であること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	261,700 人	259,600 人	+ 2,100人	+ 0.8%	48.9%
関西方面	105,700 人	104,400 人	+ 1,300人	+ 1.2%	19.7%
福岡方面	70,200 人	69,000 人	+ 1,200人	+ 1.7%	13.1%
名古屋	43,200 人	43,900 人	△ 700人	△ 1.6%	8.1%
その他	54,600 人	48,900 人	+ 5,700人	+ 11.7%	10.2%
合計	535,400 人	525,800 人	+ 9,600人	+ 1.8%	100.0%

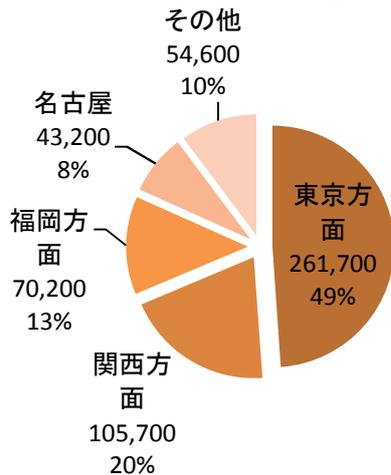
※国内海路客3,200人を含む(鹿児島2,000人、その他1,200人)

外国客 国籍別入域状況

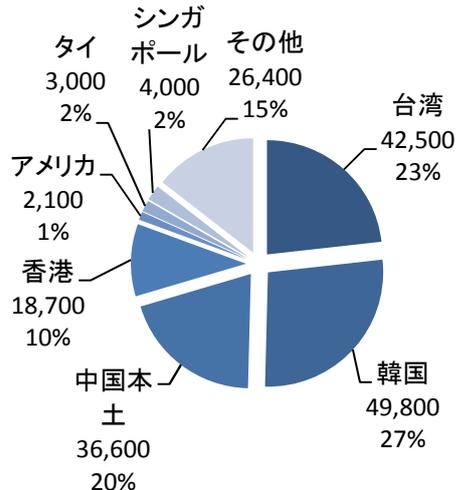
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	42,500 人	42,500 人	32,100 人	+ 10,400人	+32.4%	23.2%
韓国	49,800 人	49,800 人	43,600 人	+ 6,200人	+14.2%	27.2%
中国本土	36,600 人	36,600 人	24,900 人	+ 11,700人	+47.0%	20.0%
香港	18,700 人	18,700 人	14,800 人	+ 3,900人	+26.4%	10.2%
アメリカ	2,100 人	2,100 人	1,700 人	+ 400人	+23.5%	1.1%
タイ	3,000 人	3,000 人	600 人	+ 2,400人	+400.0%	1.6%
シンガポール	4,000 人	4,000 人	2,400 人	+ 1,600人	+66.7%	2.2%
その他	26,400 人	6,000 人	17,100 人	+ 9,300人	+54.4%	14.4%
合計	183,100 人	162,700 人	137,200 人	+ 45,900人	+33.5%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	34,400 人	34,400 人	+42.1%	26.9%	8,100 人	8,100 人	+2.5%	14.7%
韓国	49,800 人	49,800 人	+14.2%	38.9%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	15,700 人	15,700 人	+10.6%	12.3%	20,900 人	20,900 人	+95.3%	38.0%
香港	14,000 人	14,000 人	△5.4%	10.9%	4,700 人	4,700 人	皆増	8.5%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	+17.6%	1.6%	100 人	100 人	皆増	0.2%
タイ	3,000 人	3,000 人	+400.0%	2.3%	0 人	0 人	-	0.0%
シンガポール	4,000 人	4,000 人	+66.7%	3.1%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	5,200 人	5,100 人	+4.0%	4.1%	21,200 人	900 人	+75.2%	38.5%
合計	128,100 人	128,000 人	+20.3%	100.0%	55,000 人	34,700 人	+79.2%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

12月は、離島直行便の実績が高かったことや、年末年始の旅行需要の高まりで各航空会社による臨時便などの就航があったこと等から、前年を上回った。

1月は、先行割引航空券の予約状況が良好なことや、旅行会社による予約状況についても取扱いが多く見られること等から、好調に推移する見込み。

大阪

12月は、航空会社の先行割引航空券の販売状況が良好なことに加え、年末の販売実績についても高かったこと等から、前年を上回った。

1月は、年始の旅行需要の高まりに加えて、旅行会社においては週末や離島直行便の商品の予約状況について底堅く推移していること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

12月は、航空会社の先行割引航空券などの実績が良好であったほか、修学旅行の先行受注の動きが多く見られたこと等から、前年を上回った。

1月は、先行割引航空券の予約状況が良好なことや、一般団体や修学旅行の取扱いも多く見られること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

12月は、旅行会社の販売実績は良好であったものの、前年同月と比べて提供座席数が減少したことで旅客実績も減少したこと等から、前年を下回った。

1月は、航空会社や旅行会社の予約状況について前年同月並に推移していること等から、堅調に推移する見込み。

台湾

12月は、マンダリン航空による台中－那覇路線の増便等航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き航空路線の拡充が継続することや、クルーズ船の寄港回数についても増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

韓国

12月は、前年同月に比べて航空路線の拡充があったことや、クリスマス連休を利用した旅行者も多かったこと等から、前年を上回った。

1月は、宮古・石垣へのチャーター便の運航が予定されていることや、ゴルフやホエールウォッチングなどの旅行需要の高まりが期待できること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

12月は、例年閑散期にあたるものの、航空各社のセールで個人旅行者(FIT)の取り込みが見られたこと等から、前年を上回った。

1月は、航空路線数が前年同月並みにあることや、元旦休暇など旅行需要が高まることが期待できること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

12月は、閑散期における航空各社のセールで個人旅行者(FIT)の取り込みが見られたことや、前年同月と比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

1月は、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であることや、元旦休暇など旅行需要が高まることが期待できること等から、好調に推移する見込み。

香港

12月は、前年同月に比べて航空路線数が減少し空路客は減少したものの、クルーズ船の寄港があったこと等から、前年を上回った。

1月は、香港航空の増便により航空路線数が前年同月並みとなることや、クルーズ船の寄港も予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

平成30年（2018）1月 入域観光客数概況

1月の観光客数は、70万4,300人
対前年（H29）同月比 +5万1,300人、+7.9%
～1月の過去最高更新、各月の過去最高を51ヶ月連続更新～

入域状況

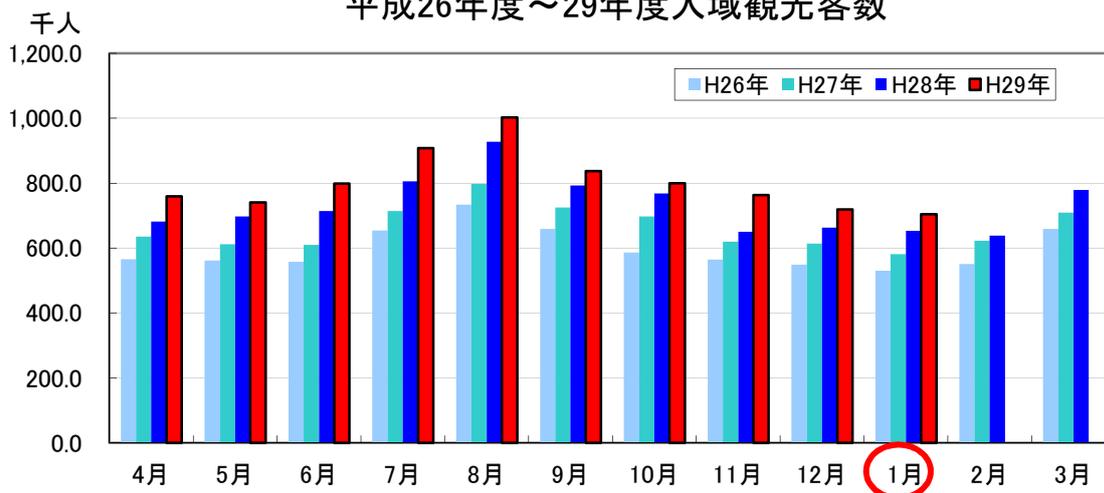
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	509,900 人	505,800 人	+ 4,100人	+ 0.8%	72.4%
外国客	194,400 人	147,200 人	+ 47,200人	+ 32.1%	27.6%
合計	704,300 人	653,000 人	+ 51,300人	+ 7.9%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	509,900 人	505,800 人	+ 4,100人	+ 0.8%	74.9%
外国客	171,100 人	138,900 人	+ 32,200人	+ 23.2%	25.1%
合計	681,000 人	644,700 人	+ 36,300人	+ 5.6%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

1月は、航空会社の先行割引航空券などの実績が良好であったほか、旅行会社の販売実績が前年同月並みにあったこと等により、前年を上回った。

2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭りなど各種イベントが多く、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、スターフライヤーの北九州路線再開により新規需要が期待できること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

1月は、年末年始の旅行需要の高まりや、宮古・石垣へのチャーター便の運航など航空路線の拡充、クルーズ船の寄港回数が前年同月比で増加（H29.1月9回からH30.1月23回）したこと等から前年を上回った。

2月は、春節時期による旅行需要の高まりや、クルーズ船の寄港回数も増加する予定（H29.2月12回からH30.2月20回）であること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	254,300 人	250,500 人	+ 3,800人	+ 1.5%	49.9%
関西方面	97,400 人	100,300 人	△ 2,900人	△ 2.9%	19.1%
福岡方面	65,400 人	66,100 人	△ 700人	△ 1.1%	12.8%
名古屋	41,600 人	41,600 人	0人	0.0%	8.2%
その他	51,200 人	47,300 人	+ 3,900人	+ 8.2%	10.0%
合計	509,900 人	505,800 人	+ 4,100人	+ 0.8%	100.0%

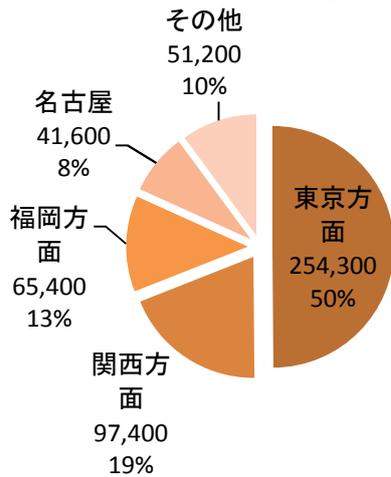
※国内海路客4,100人を含む(鹿児島2,400人、東京1,600人、その他100人)

外国客 国籍別入域状況

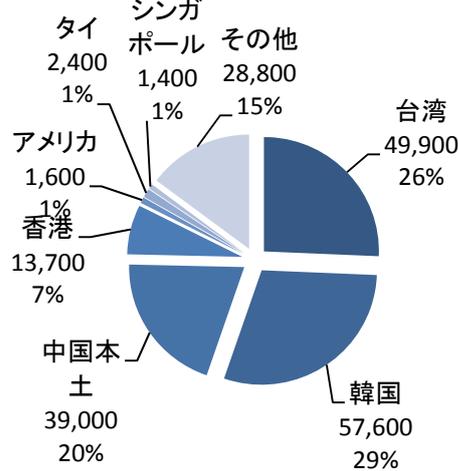
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	49,900 人	49,900 人	39,300 人	+ 10,600人	+27.0%	25.7%
韓国	57,600 人	57,600 人	49,500 人	+ 8,100人	+16.4%	29.6%
中国本土	39,000 人	39,000 人	29,700 人	+ 9,300人	+31.3%	20.1%
香港	13,700 人	13,700 人	15,100 人	△ 1,400人	△9.3%	7.0%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	1,300 人	+ 300人	+23.1%	0.8%
タイ	2,400 人	2,400 人	200 人	+ 2,200人	+1100.0%	1.2%
シンガポール	1,400 人	1,400 人	300 人	+ 1,100人	+366.7%	0.7%
その他	28,800 人	5,500 人	11,800 人	+ 17,000人	+144.1%	14.8%
合計	194,400 人	171,100 人	147,200 人	+ 47,200人	+32.1%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	35,100 人	35,100 人	+9.7%	27.0%	14,800 人	14,800 人	+102.7%	23.0%
韓国	57,400 人	57,400 人	+16.0%	44.2%	200 人	200 人	皆増	0.3%
中国本土	17,300 人	17,300 人	△28.5%	13.3%	21,700 人	21,700 人	+294.5%	33.7%
香港	12,200 人	12,200 人	△17.6%	9.4%	1,500 人	1,500 人	+400.0%	2.3%
アメリカ	1,500 人	1,500 人	+15.4%	1.2%	100 人	100 人	皆増	0.2%
タイ	2,200 人	2,200 人	+1000.0%	1.7%	200 人	200 人	皆増	0.3%
シンガポール	1,400 人	1,400 人	+366.7%	1.1%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	2,900 人	2,900 人	△14.7%	2.2%	25,900 人	2,600 人	+208.3%	40.2%
合計	130,000 人	130,000 人	+3.4%	100.0%	64,400 人	41,100 人	+199.5%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

1月は、先行割引航空券の取扱いが対前年比で大幅に増加したことや、旅行会社の販売実績についても良好であったこと等から、前年を上回った。

2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭りなど各種イベントが多く、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、各航空会社による航空路線の拡充も見られること等から、好調に推移する見込み。

大阪

1月は、離島直行便の実績が高かったものの、旅行会社の販売実績が前年同月に届かなかったこと等から、前年を下回った。

2月は、連休絡みで個人旅行需要が高いことや、学生向け旅行商品の予約状況が対前年で大幅に増加している傾向が見られること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

1月は、航空会社の先行割引航空券などの実績は良好であったものの、旅行会社の販売実績が前年同月に届かなかったこと等から、前年を下回った。

2月は、スターフライヤーの北九州路線再開により新規需要が期待できることや、旅行会社の予約状況について前年並みに推移していること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

1月は、航空会社の取扱い実績や、旅行会社の販売実績が良好であったこと等から、前年並であった。

2月は、航空会社や旅行会社の予約状況について前年同月並に推移していること等から、好調に推移する見込み。

台湾

1月は、前年同月に比べて航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

2月は、春節時期にチャーター便の運航が予定されていることや、クルーズ船の寄港回数について増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

韓国

1月は、冬休み期間における旅行需要の増加や、宮古・石垣へのチャーター便の運航など航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

2月は、韓国プロ野球キャンプ見学の需要が見込めることや、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

1月は、元旦休暇にかけての旅行需要の高まりや、冬休み期間に家族旅行の取扱いが多く見られたこと等から、前年を上回った。

2月は、春節時期による旅行需要の高まりや、各旅行会社による花見にあわせた旅行商品の販売強化の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

1月は、冬休み期間における家族旅行取扱いが多く見られたことや、前年同月と比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

2月は、春節時期の旅行需要の高まりに加え、引き続きクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

1月は、クルーズ船の寄港があり、航空路線数が前年同月並になったことものの、他方面との競合で航空搭乗率が鈍化したこと等から、前年を下回った。

2月は、春節時期の旅行需要の高まりに加え、冬場のホエールウォッチングや桜祭りなどの旅行商品に人気があること等から、好調に推移する見込み。

平成30年（2018）2月 入域観光客数概況

2月の観光客数は、71万1,400人
対前年（H29）同月比 +7万3,500人、+11.5%
～2月の過去最高更新、各月の過去最高を52ヶ月連続更新～

入域状況

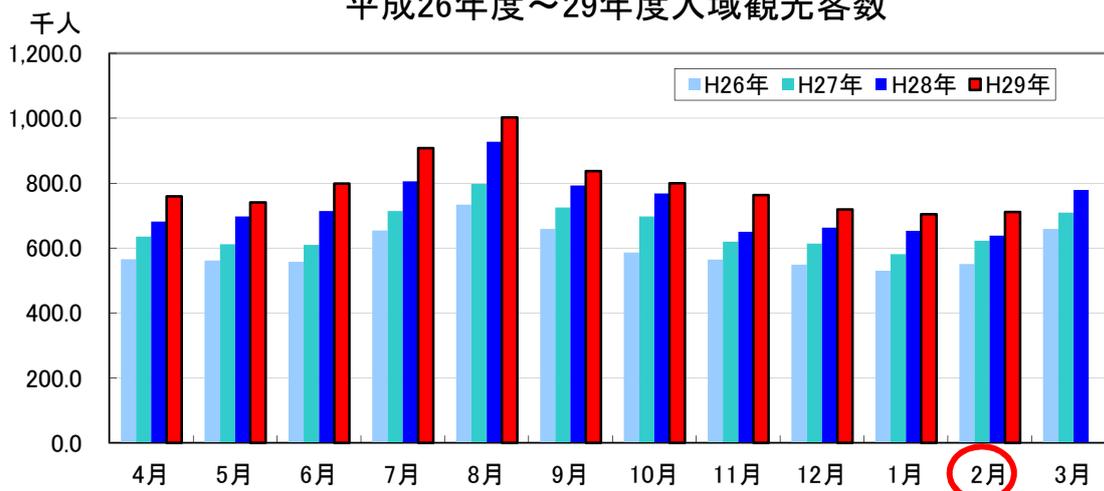
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	516,600 人	493,800 人	+ 22,800人	+ 4.6%	72.6%
外国客	194,800 人	144,100 人	+ 50,700人	+ 35.2%	27.4%
合計	711,400 人	637,900 人	+ 73,500人	+ 11.5%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	516,600 人	493,800 人	+ 22,800人	+ 4.6%	74.4%
外国客	177,300 人	134,900 人	+ 42,400人	+ 31.4%	25.6%
合計	693,900 人	628,700 人	+ 65,200人	+ 10.4%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭りなど各種イベントが多く、個人旅行を中心に販売実績が良好であったことや、スターフライヤーの北九州路線再開など航空路線の拡充があったこと等により、前年を上回った。

3月は、春休みによる旅行需要の高まりや、各航空会社の予約状況が良好なことに加え、下旬からの夏季運航期間において航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

2月は、春節時期による旅行需要の高まりや、クルーズ船の寄港回数が前年同月比で増加（H29.2月12回からH30.2月18回）したこと等から前年を上回った。

3月は、クルーズ船の寄港回数について引き続き増加する予定（H29.3月22回からH30.3月28回）であることや、下旬からの夏季運行期間において航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	250,400 人	241,400 人	+ 9,000人	+ 3.7%	48.5%
関西方面	101,700 人	97,200 人	+ 4,500人	+ 4.6%	19.7%
福岡方面	67,700 人	64,900 人	+ 2,800人	+ 4.3%	13.1%
名古屋	44,400 人	43,600 人	+ 800人	+ 1.8%	8.6%
その他	52,400 人	46,700 人	+ 5,700人	+ 12.2%	10.1%
合計	516,600 人	493,800 人	+ 22,800人	+ 4.6%	100.0%

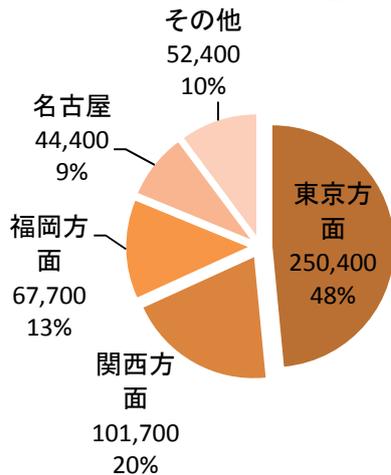
※国内海路客1,700人を含む(鹿児島1,500人、その他200人)

外国客 国籍別入域状況

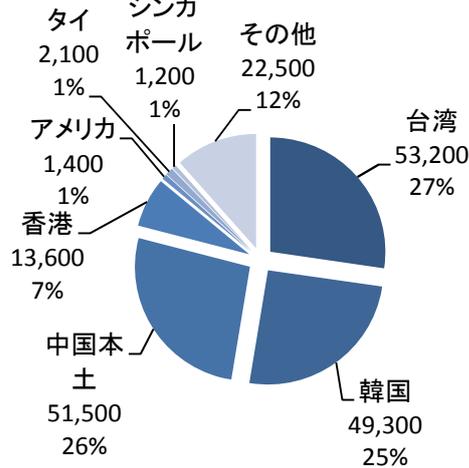
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	53,200 人	53,200 人	43,600 人	+ 9,600人	+22.0%	27.3%
韓国	49,300 人	49,300 人	45,000 人	+ 4,300人	+9.6%	25.3%
中国本土	51,500 人	51,500 人	29,300 人	+ 22,200人	+75.8%	26.4%
香港	13,600 人	13,600 人	11,100 人	+ 2,500人	+22.5%	7.0%
アメリカ	1,400 人	1,400 人	1,400 人	0人	0.0%	0.7%
タイ	2,100 人	2,100 人	1,300 人	+ 800人	+61.5%	1.1%
シンガポール	1,200 人	1,200 人	300 人	+ 900人	+300.0%	0.6%
その他	22,500 人	5,000 人	12,100 人	+ 10,400人	+86.0%	11.6%
合計	194,800 人	177,300 人	144,100 人	+ 50,700人	+35.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	43,100 人	43,100 人	+27.9%	31.6%	10,100 人	10,100 人	+2.0%	17.4%
韓国	49,300 人	49,300 人	+9.6%	36.1%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	23,500 人	23,500 人	+20.5%	17.2%	28,000 人	28,000 人	+185.7%	48.1%
香港	12,800 人	12,800 人	+17.4%	9.4%	800 人	800 人	+300.0%	1.4%
アメリカ	1,200 人	1,200 人	+20.0%	0.9%	200 人	200 人	△50.0%	0.3%
タイ	2,100 人	2,100 人	+61.5%	1.5%	0 人	0 人	-	0.0%
シンガポール	1,200 人	1,200 人	+300.0%	0.9%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	3,400 人	3,400 人	+36.0%	2.5%	19,100 人	1,600 人	+99.0%	32.8%
合計	136,600 人	136,600 人	+19.6%	100.0%	58,200 人	40,700 人	+94.6%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭りなど各種イベントが多く、個人旅行の取扱が良好であったことや、各航空会社による航空路線の拡充等から、前年を上回った。

3月は、春休みによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の予約状況が前年同月並に推移していること等から、好調に推移する見込み。

大阪

2月は、旅行会社の販売が週末や連休を中心に良好であったことや、学生旅行の実績が高かったこと等から、前年を上回った。

3月は、航空会社による離島直行便の予約状況が良好なことや、学生向け旅行商品が引き続き増加している傾向が見られること等から、好調に推移する見込み。

福岡

2月は、スターフライヤーの北九州路線が再開したことや、旅行会社の販売実績について前年並みに推移したこと等から、前年を上回った。

3月は、春休みによる旅行需要の高まりや、下旬には石垣直行便の通年運航開始など航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

2月は、連休を中心に旅行会社の取扱実績が高かったことや、企業による団体旅行も多く見られたこと等から、前年を上回った。

3月は、春休みによる旅行需要の高まりや、下旬には宮古直行便の通年運航開始など航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

2月は、春節時期にチャーター便の運航があったことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

3月は、航空会社による増便や台北－石垣路線の運行再開が予定されていることに加え、引き続きクルーズ船の寄港が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

韓国

2月は、韓国プロ野球キャンプ見学の旅行需要の高まりや、チャーター便の運航など航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

3月は、前年同月に比べて航空路線の拡充が予定されていることから、空路を中心に好調に推移する見込み。

中国本土・北京

2月は、春節時期による旅行需要の高まりや、各旅行会社による花見にあわせた旅行商品の販売強化の動きが見られたこと等から、前年を上回った。

3月は、西安－那覇路線が再開し、航空路線数について前年同月並みに推移する見込みであること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

2月は、春節時期の旅行需要の高まりに加え、前年同月と比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

3月は、航空路線数が前年同月並みに推移する見込みのほか、大型クルーズ船が寄港予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

2月は、春節時期の旅行需要の高まりに加え、冬場のホエールウォッチングや桜祭りなどの旅行商品に人気があったこと等から、前年を上回った。

3月は、前年同月に比べて航空路線の拡充が予定されているほか、下旬からのイースター連休で旅行需要が高まることが期待されること等から、好調に推移する見込み。

平成30年（2018）3月 入域観光客数概況

3月の観光客数は、83万7,400人
 対前年（H29）同月比 +5万8,900人、+7.6%
 ～3月の過去最高更新、各月の過去最高を53ヶ月連続更新～
 ～年度は957万9,900人で5年連続過去最高～

入域状況

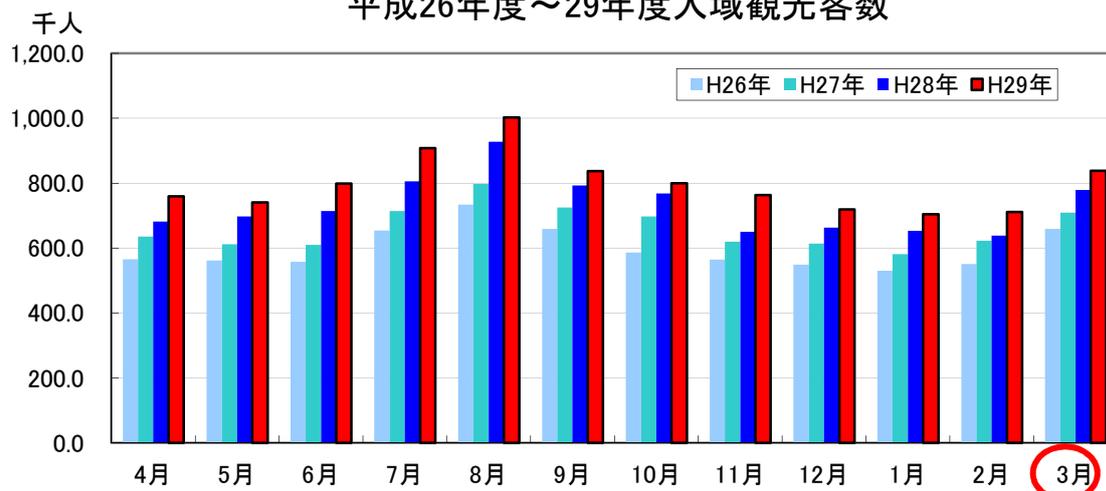
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	627,100 人	620,100 人	+ 7,000人	+ 1.1%	74.9%
外国客	210,300 人	158,400 人	+ 51,900人	+ 32.8%	25.1%
合計	837,400 人	778,500 人	+ 58,900人	+ 7.6%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	627,100 人	620,100 人	+ 7,000人	+ 1.1%	76.9%
外国客	188,000 人	145,100 人	+ 42,900人	+ 29.6%	23.1%
合計	815,100 人	765,200 人	+ 49,900人	+ 6.5%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

3月は、春休みの旅行需要があり、各航空会社において離島路線を中心に入込が良好であったこと等から前年を上回った。

4月は、麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、各航空会社の予約状況が良好なことや夏季運航期間において航空路線の拡充による提供座席数の増加が見込まれることから、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

3月は、航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が前年同月比で増加したこと等から前年を上回った。

4月は、麻しん（はしか）患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であることや、夏季運行期間において航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	298,100 人	301,500 人	△ 3,400人	△ 1.1%	47.5%
関西方面	131,500 人	126,900 人	+ 4,600人	+ 3.6%	21.0%
福岡方面	79,600 人	79,600 人	0人	0.0%	12.7%
名古屋	51,700 人	52,700 人	△ 1,000人	△ 1.9%	8.2%
その他	66,200 人	59,400 人	+ 6,800人	+ 11.4%	10.6%
合計	627,100 人	620,100 人	+ 7,000人	+ 1.1%	100.0%

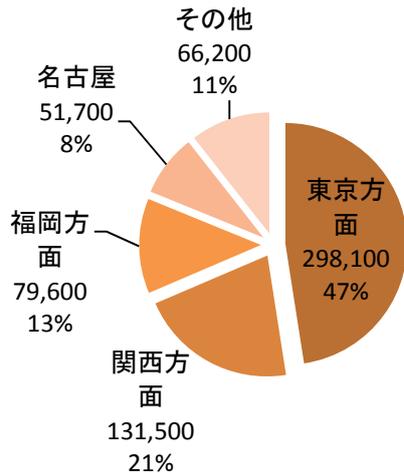
※国内海路客2,400人を含む(鹿児島2,200人、その他200人)

外国客 国籍別入域状況

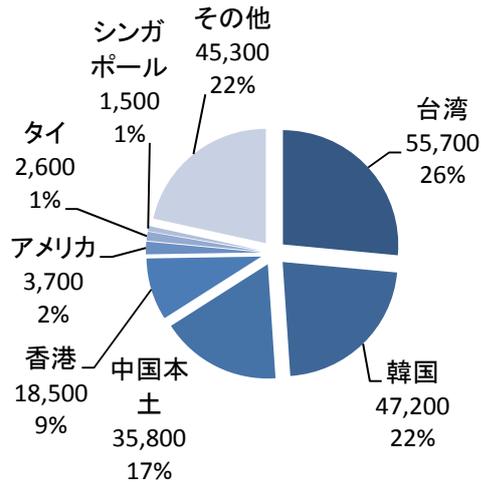
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	55,700 人	55,700 人	49,900 人	+ 5,800人	+11.6%	26.5%
韓国	47,200 人	47,200 人	38,100 人	+ 9,100人	+23.9%	22.4%
中国本土	35,800 人	35,800 人	25,300 人	+ 10,500人	+41.5%	17.0%
香港	18,500 人	18,500 人	16,800 人	+ 1,700人	+10.1%	8.8%
アメリカ	3,700 人	3,700 人	2,200 人	+ 1,500人	+68.2%	1.8%
タイ	2,600 人	2,600 人	3,200 人	△ 600人	△18.8%	1.2%
シンガポール	1,500 人	1,500 人	700 人	+ 800人	+114.3%	0.7%
その他	45,300 人	23,000 人	22,200 人	+ 23,100人	+104.1%	21.5%
合計	210,300 人	188,000 人	158,400 人	+ 51,900人	+32.8%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	47,500 人	47,500 人	+18.2%	33.7%	8,200 人	8,200 人	△15.5%	11.8%
韓国	47,200 人	47,200 人	+23.9%	33.5%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	16,900 人	16,900 人	△2.3%	12.0%	18,900 人	18,900 人	+136.3%	27.2%
香港	18,400 人	18,400 人	+10.8%	13.1%	100 人	100 人	△50.0%	0.1%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	+17.6%	1.4%	1,700 人	1,700 人	+240.0%	2.4%
タイ	2,600 人	2,600 人	△18.8%	1.8%	0 人	0 人	-	0.0%
シンガポール	1,500 人	1,500 人	+114.3%	1.1%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	4,800 人	4,800 人	+14.3%	3.4%	40,500 人	18,200 人	+125.0%	58.4%
合計	140,900 人	140,900 人	+15.5%	100.0%	69,400 人	47,100 人	+90.7%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

3月は、航空会社の先行割引航空券などの実績は良好であったものの、旅行会社の販売実績が前年同月に届かなかった等から、前年を下回った。

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社による離島直行便の予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

大阪

3月は、航空会社の先行割引航空券などの実績や旅行会社商品が春休み中心に良好であったこと等から、前年を上回った。

4月は、一般団体(企業周年関連、研修)旅行の先行受注が良好なこともあり、堅調に推移する見込み。

福岡

3月は、春休みによる旅行需要の高まりや、石垣直行便の通年運航開始など航空路線の拡充があったことから、前年並みであった。

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりや、航空会社の予約状況が良好なこともあり、好調に推移する見込み。

名古屋

3月は、春休みによる旅行需要の高まりや、宮古直行便の通年運航開始など航空路線の拡充があったものの旅行会社の販売実績が前年同月に届かなかった等から、前年を下回った。

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりや、旅行会社の宮古島商品の販売が良好なこともあり、堅調に推移する見込み。

台湾

3月は、航空会社による高雄-那覇路線の増便、台北-石垣路線の運行再開があったことやクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

4月は、麻しん(はしか)患者の発生に伴う影響が懸念されるものの、航空会社による増便や、高雄-那覇路線の初就航や琉球海炎祭による旅行需要の高まり等から、好調に推移する見込み。

韓国

3月は、手頃な価格や短い経由時間などを強みとしたおかげで合理的な消費を重視する若い旅行者に人気が高まっていることや航空路線の拡充やソウル-那覇便の大型化があったこと等により、前年を上回った。

4月は、前年同月に比べて航空路線の拡充が予定されていることから、空路を中心に好調に推移する見込み。

中国本土・北京

3月は、お花見の旅行商品等、多方面との競合が懸念されたものの、航空会社による西安-那覇路線の再開等により、前年を上回った。

4月は、清明節、労働節連休による旅行需要の高まりや、海開きのシーズンであること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

3月は、お花見の旅行商品等、多方面との競合が懸念されたものの、大型クルーズ船の寄港があったこと等から、前年を上回った。

4月は、清明節、労働節連休による旅行需要の高まりや、大型クルーズ船が寄港予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

3月は、イースター連休による旅行需要の高まりや航空会社による増便により前年を上回った。

4月は、前年同月に比べて航空路線の拡充が予定されているほか、イースター連休で旅行需要が高まることが期待されること等から、好調に推移する見込み。